

豊見城市立学校施設長寿命化計画

豊見城市 教育委員会

令和3年3月

目次

序 章 はじめに	
1. 計画の背景と目的.....	1
2. 計画の位置付け	1
3. 対象施設	2
4. 上位関連計画	3
第 1 章 学校施設等に関する現状と課題	
1. 人口動向及び学校施設等の現状.....	10
2. 学校施設等の現状.....	13
3. 学校施設等に係る行財政の状況.....	16
4. 学校施設等に関する現状と課題のまとめ	18
第 2 章 学校施設等の老朽化状況の把握	
1. 構造躯体の健全性調査	19
2. 躯体以外の劣化状況調査.....	23
3. 躯体以外の劣化状況調査 調査結果	25
4. 学校施設等の老朽化状況の把握（第 2 章まとめ）	34
第 3 章 学校施設等の目指すべき姿.....	36
第 4 章 学校施設等整備の基本的な方針と施設整備水準	
1. 学校施設等整備及び長寿命化等の基本的な方針	37
2. 改築及び改修等の整備水準	40
3. 維持管理の項目・手法等	42
第 5 章 長寿命化の実施計画	
1. 改築及び改修等の優先順位付け	43
2. 長寿命化のコスト見通しと効果	43
第 6 章 長寿命化計画の継続的運用	
1. 情報基盤の整備と活用	47
2. 推進体制の整備	47
3. フォローアップ等	48
第 7 章 LCC 試算表の整理	49

序 章 はじめに

1. 計画の背景と目的

学校施設等の長寿命化を図るための指針として、平成 27 年に「文部科学省インフラ長寿命化計画」及び「学校施設等の長寿命化計画策定に係る手引」、平成 29 年に「学校施設等の長寿命化計画策定に係る解説書」が策定されました。これらの指針において、少子化や教育内容・教育方法等の多様化、バリアフリー、環境への配慮、防災機能の強化等、学校施設等に対するニーズへの対応と、将来の財政負担に配慮した効率的な維持管理が求められています。

本市は、こども園 1 園、小学校 8 校、中学校 3 校、学校給食センター 1 施設を有しており、本市が保有している公共施設の延床面積の 50%以上を占めています。これらの建物の中には老朽化が進んでいるものもあり、整備量（延床面積）累計は年々増加しています。

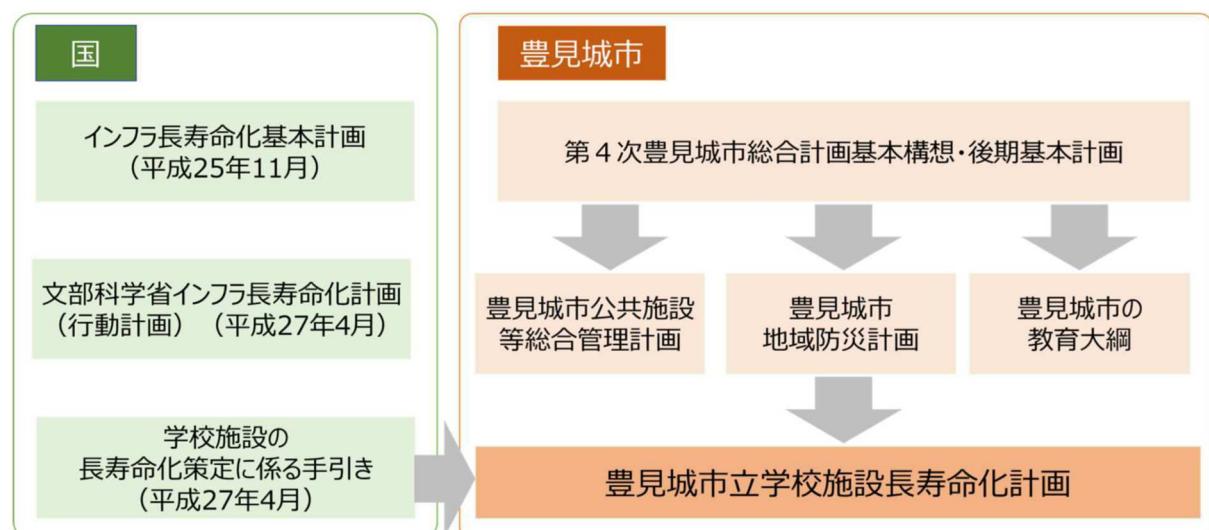
また、本市ではこれまで、市民の皆さんに安全・安心に施設等を利用いただけるよう適切な維持管理を推進していくことを基本に、施設の維持管理、効果的・効率的な施設の有効活用、PPP 手法の活用など、施設の今後のあり方について基本的な方向性を示す豊見城市公共施設等総合管理計画（平成 29 年）を策定しました。

これらを受け、本市が保有する学校施設等に関する実態の把握・分析を行い、中長期的な財政的負担の縮減・平準化を図りながら、本市の特性に沿った学校施設等の維持管理、更新を推進するための方策を検討します。そのうえで、学校施設等に関する個別施設計画として、各学校の改築や長寿命化改修の進め方等に関する「豊見城市立学校施設長寿命化計画」を定めることとします。

2. 計画の位置付け

本計画は、豊見城市総合計画や公共施設等総合管理計画など、上位関連計画との整合を図りながら、計画を策定します。

計画期間は 10 年間とし、概ね 5 年で見直しを行います。



3. 対象施設

本計画の対象は、市が管理するこども園1園、小学校8校、中学校3校、学校給食センター1施設の計13施設です。対象施設面積は、こども園が2,421m²、小学校が66,604m²、中学校が30,308m²、学校給食センターが1,976m²でその合計は101,132m²となっています。

図表. 市内こども園・小中学校・学校給食センター一覧

No.	学校名	面積(m ²)	築年	棟数
1	上田こども園	2,421	2017	2棟
2	上田小学校	10,901	2016～2018	7棟
3	長嶺小学校	8,256	2007～2008	5棟
4	座安小学校	7,397	1992～2013	4棟
5	豊見城小学校	7,679	1989～2009	5棟
6	伊良波小学校	6,814	1986～1999	7棟
7	とよみ小学校	7,064	1995～2007	6棟
8	豊崎小学校	8,509	2011	7棟
9	ゆたか小学校	9,984	2014	5棟
10	豊見城中学校	12,115	1991～2019	3棟
11	長嶺中学校	9,237	2009～2010	4棟
12	伊良波中学校	8,956	1985～2019	7棟
13	学校給食センター	1,976	1985	3棟
計				65棟

出典：学校台帳

※延床面積 = 保有面積 + 保有控除面積 (200 m²以下の屋外倉庫等を含み、取壊し予定の建物は除く。)

※旧耐震基準の昭和 56 年以前に建設された施設が 2 棟（豊見城中学校）ありますが、令和 3 年度に改築予定のため、対象外とします。

● こども園 ● 小学校 ● 中学校 ● 学校給食センター



4. 上位関連計画

本計画の上位関連計画である「第5次豊見城市総合計画基本構想・後期基本計画」、「豊見城市公共施設等総合管理計画」、「豊見城市地域防災計画」では、学校施設等について以下のとおり記されています。

（1）第4次豊見城市総合計画基本構想・後期基本計画

- ・本計画では、まちづくりの基本理念を「自立 活力 共生」とし、響むまち豊見城の未来を照射しています。
- ・将来像を「ひと・そら・みどり がつなぐ 韶むまち とみぐすく」とし、
ひとが健やかに助け合い そらが広がる みどり豊かな まちを共に築き ひとと まちと が響き合うなかで
「豊見城 大好き！」 そう実感できる 韶むまち とみぐすく を目指します。

■ 策定年月：平成29年3月

■ 計画期間：平成29（2017）年度～平成32（2020）年度

■ 第2部 子どもが生きる学びと文化のまちづくり～教育・子育て・文化振興分野～

・ 第1章 教育の充実

第2節 義務教育の充実

（2）教育施設・設備等の充実

本市では、人口増加とともに児童・生徒数の増加が想定されるため、的確な将来予測に基づいた学校施設の計画的な整備を実施します。また、学校施設の維持・管理を図るとともに、平成30年度供用開始に向けた上田小学校及び平成33年度供用開始に向けた豊見城中学校の改築など耐震化や長寿命化の取り組みを推進します。

設備面においては、運動施設の整備や「情報教育」の強化のための電子黒板、パソコンやLAN整備等、教育設備の充実に努めます。

（3）学校教育の充実

学校給食センターを拠点に、安全でおいしい学校給食を継続して提供していくため、児童・生徒の増加及び老朽化への対応として、施設や設備の計画的な整備・更新に取り組むとともに、適切な運営・管理に努めています。

（5）個に応じた支援体制の充実

「インクルーシブ教育」の考え方を基本に、障害をもつ児童・生徒の受入体制の充実に向け、「特別支援教育支援員」の適正配置やバリアフリー化の推進、障害の状況に応じた就学相談、健常児童・生徒との交流活動など、きめ細かな「特別支援教育」の充実に努めます。

・ 第4章 生涯学習社会の確立

第1節 生涯学習社会の確立

（3）子どもが健やかに育まれる地域環境づくり

子どもたちが安全・安心かつ健やかに育まれる環境づくりのため、家庭や地域、市民団体などと連携して放課後や週末等の子どもたちの適切な遊びや生活の場の確保に努めるとともに、学校施設やその他の公共施設などを活用し、放課後子ども教室事業などの施策を通して学習やスポーツ、文化活動、交流活動など多様な体験や交流機会の提供に取り組みます。

■ 第4部 持続可能な環境と安心・安全のまちづくり～環境・危機管理分野～

・ 第3章 環境共生のまちづくり

第1節 環境共生のまちづくり

（3）新エネルギーの活用検討

豊見城市地域新エネルギービジョンでの検討成果を踏まえ、本市では学校や公共公益施設における太陽光発電パネルの導入を進めるとともに、住宅用太陽光発電パネルの設置に対し助成することで、身近なところからの新エネルギーの活用に努めます。

・ 第4章 災害に強いまちづくり

第1節 防災都市づくり

（1）災害に強い都市構造の形成

避難・救援・延焼防止などの機能を持ち避難路や避難場所などにもなる公園及び小・中学校グランドや幹線道路の整備と改良を推進します。指定緊急避難場所（安全確保のための一時避難の場所）・指定避難所（避難生活を行う場所）への誘導については、豊見城市防災マップによるほか、避難路などに避難誘導標識の設置を行ないその充実に取り組みます。

（2）災害に強い建築物・構造物の整備

学校などの避難所に指定されている公共施設における耐震性と耐火性の向上に努めます。

市内の建築物全体の耐震性・耐火性向上のため、関連情報の提供と啓発や耐震診断・改修の支援に努めます。

（2）豊見城市公共施設等総合管理計画

- ・本計画は、市内施設の長寿命化や予防保全の考え方による維持管理、機能の統合・複合化など効果的・効率的な施設の有効活用、施設の維持修繕や管理運営に係る民間の技術やノウハウを活用したPPP手法の活用など、施設の今後のあり方について、基本的な方向性を示す。

■ 策定年月：平成 29 年 3 月

■ 計画期間：平成 29（2017）年度～平成 38（2026）年度

■ 数値目標：10 年間で 52 億円の不足となる財政シミュレーション結果が出たが、人口 1 人当たりの公共建築物保有量（2.83 m²/人）や人口増加傾向にある状況を鑑みて、施設保有量は現状維持とする。今後の新たな行政需要に対しては、真に必要な施設であるかどうか検討を行い、公共建築物の新規整備をする必要がある。

一方、52 億円の捻出については、公共施設等の長寿命化や維持管理費の削減、新たな収入の確保や適切な利用者負担等の検討を行い、さらなる財源の確保の取組を全庁的に行っていく必要がある。

要 素	10 年間の削減（縮減）目標値	10 年間の削減（縮減）目標金額
保有量（延床面積）	延床面積での削減目標なし	52 億円

・ 第 8 章 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

1. 計画期間
2. 数値目標
3. 点検・診断等の実施方針
4. 安全確保の実施方針
5. 長寿命化の実施方針
6. 民間活用（PFI/PPP 等）の考え方
7. 維持管理・修繕・更新等の実施方針
8. 耐震化の実施方針
9. 統合や廃止の推進方針
10. 広域化の検討について
11. 行政サービス水準等の検討について
12. 使用料の見直し検討について

・ 第 9 章 施設類型ごとの管理に関する基本的な考え方

（小学校・中学校）

- ・平成 31 年度までに耐震化率 100%を目指し耐震化改修を行っていきます。
- ・「豊見城市学校施設長寿命化計画」を平成 32 年度までに作成し、機能や性能を現在の学校に求められている水準まで引き上げ、安全・安心な施設環境の確保、教育環境の質的向上を目指していきます。
- ・学校の新設及び建替えの際には、地域と学校との連携を推進するため、地域連携室の整備に努めます。

（学校給食センター）

- ・児童数、生徒数などの人口動態などを鑑み、安心・安全・確実な給食提供を行い効率的な運営に取り組むよう努めます。
- ・施設の長寿命化を図るために、定期的な点検などで事前保全型の修繕対策を講じてきます。

（3）豊見城市地域防災計画

- ・本計画は、災害対策基本法（昭和 36 年法律第 223 号）第 42 条及び豊見城市防災会議条例第 2 条の規定に基づき、豊見城市防災会議が作成する計画であって、豊見城市、沖縄県及び防災関係機関や公共団体その他市民がその有する全機能を発揮し、市の地域における防災に関し、災害予防対策、災害応急対策、災害復旧・復興対策に至る一連の防災活動を適切に実施することにより、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的とする。

■ 策定年月：平成 27 年 7 月

■ 第 1 編 基本編

・ 第 2 章 基本方針

第 1 節 地域防災ビジョン

1 基本方針

市防災計画は、本市の総合的な災害対策の基本となるべきものであり、災害の予防対策、災害時の応急対策、復旧・復興対策の実施に大きな役割を果たすものである。

市は、市民・行政・防災関係機関がそれぞれの立場で防災活動を展開し、大規模な災害の軽減を図るために体制づくりとして、「自助」「共助」「公助」の精神が根ざした、災害に強く安心して住めるまちをつくることを目指すものとする。

第 3 節 防災対策の基本方針

1 周到かつ十分な災害予防対策

（2）施策の概要

ア 災害に強いまちづくりを実現するための主要交通・通信機能の強化、避難路の整備等による災害に強い都市構造の形成、住宅や学校・病院等公共施設等の安全性の確保及び代替施設の整備等によるライフライン機能確保

第 4 節 本市の特殊性等を考慮した重要事項

2 沿岸部の低地に密集する人口等への防災対策

（1）津波ハザードマップの整備、学校等の防災教育及び地域の津波避難訓練の実施

（2）市の津波避難計画、浸水想定区域の学校、医療機関及び福祉施設等の津波避難マニュアルの作成

（4）豊見城市的教育大綱

- ・豊見城市は、『「ゆめ」「まなび」「ひと」を大事にする響むまちの教育』を目標とし、次のことを大綱として教育及び文化の振興に関する施策を推進します。

「ゆめ」：目標は立てることで自ら学ぶ意欲を持ち、心豊かでたくましく、創造性・国際性に富む幼児児童生徒の育成を図ります。

「まなび」：家庭・学校・地域社会の相互連携のもとに、社会の変化に主体的に対応し得る生涯学習社会の実現を図ります。

「ひと」：郷土の自然や文化に誇りを持ち、心身ともに健康で、主体的に社会に貢献する市民の育成を図ります。

■ 1 幼児教育の充実

多様化する幼児教育ニーズに対応する教育や体験活動の実施など、教育プログラムの充実を図ります。

■ 2 義務教育の充実

「生きる力」を育む教育の充実を図るとともに、施設などの改善や充実に取り組みます。また、地域や保護者等との連携により安心・安全で開かれ、信頼され、かつ、子どもたちが明るく通える学校づくりを推進していきます。

■ 3 地域文化の振興

「グスク」や戦跡などの史跡、文化財の保全と活用に努めています。また、地域の誇りやアイデンティティの源泉となるよう、地域に眠る文化を掘り起こし再評価する取組や新しい地域文化の創造動きを支援します。

■ 4 生涯学習社会の確立

いつでも気軽に学び、生涯にわたり新たな知識や技能を習得しながら、自己実現を果たし、生きがいに満ちあふれた生活を送ることができるよう生涯学習のための機会やプログラムの充実に努めます。

■ 5 スポーツ・レクリエーションの振興

いつでも気軽に学び、生涯にわたり新たな知識や技能を習得しながら、自己実現を果たし、生きがいに満ちあふれた生活を送ることができるよう生涯学習のための機会やプログラムの充実に努めます。

■ 6 教育行政の充実

市民に開かれた教育行政の展開や国際性豊かで広い視野を持ち、情報活用能力に優れた人材の育成に努めます。

（5）上位関連計画に関するまとめ

上位関連計画における学校施設等に関する記載を文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引き」で示されている学校施設等の目指すべき姿の5つの項目に区分すると以下に整理できます。

項目	関連するキーワード	
安全性	総合計画	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設の維持・管理を図るとともに、平成30年度末供用開始に向けた上田小学校及び平成33年度供用開始に向けた豊見城中学校の改築など耐震化や長寿命化の取り組みを推進する。 避難・救援・延焼防止などの機能を持ち避難路や避難場所などにもなる公園及び小・中学校グランドや幹線道路の整備と改良を推進する。 学校などの避難所に指定されている公共施設における耐震性と耐火性の向上に努める。 市内の建築物全体の耐震性・耐火性向上のため、関連情報の提供と啓発や耐震診断・改修の支援に努める。
	公共施設等総合管理計画	<ul style="list-style-type: none"> 小学校・中学校について、平成31年度までに耐震化率100%を目指し耐震化改修を行う。
	地域防災計画	<ul style="list-style-type: none"> 住宅や学校・病院等公共施設等の安全性の確保及び代替施設の整備等によるライフライン機能確保 学校等の防災教育 浸水想定区域の学校の津波避難マニュアルの作成
快適性	総合計画	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食センターは児童・生徒の増加及び老朽化への対応として、施設や設備の計画的な整備・更新に取り組むとともに、適切な運営・管理に努める。 「インクルーシブ教育」の考え方を基本に、障害をもつ児童・生徒の受入体制の充実に向け、「特別支援教育支援員」の適正配置やバリアフリー化の推進、障害の状況に応じた就学相談、健常児童・生徒との交流活動など、きめ細かな「特別支援教育」の充実に努める。
	公共施設等総合管理計画	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食センターについて、児童数、生徒数などの人口動態などを鑑み、安心・安全・確実な給食提供を行い効率的な運営に取り組むよう努める。 小学校・中学校について、「豊見城市学校施設長寿命化計画」を平成32年度までに作成し、機能や性能を現在の学校に求められている水準まで引き上げ、安全・安心な施設環境の確保、教育環境の質的向上を目指す。 学校給食センターについて、施設の長寿命化を図るために、定期的な点検などで事前保全型の修繕対策を講じる。

学習活動への適応性	総合計画	<ul style="list-style-type: none"> 運動施設の整備や「情報教育」の強化のための電子黒板、パソコンや LAN 整備等、教育設備の充実に努める。
	教育大綱	<ul style="list-style-type: none"> 「生きる力」を育む教育の充実を図るとともに、施設などの改善や充実に取り組む。
環境への適応性	総合計画	<ul style="list-style-type: none"> 学校や公共公益施設における太陽光発電パネルの導入を進め、身近なところからの新エネルギーの活用に努める。 的確な将来予測に基づいた学校施設の計画的な整備を実施する。
地域の拠点化	総合計画	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設やその他の公共施設などを活用し、放課後子ども教育事業などの施策を通して学習やスポーツ、文化活動、交流活動など多様な体験や交流機会の提供に取り組む。
	公共施設等総合管理計画	<ul style="list-style-type: none"> 学校の新設及び建替えの際には、地域と学校との連携を推進するため、地域連携室の整備に努める。

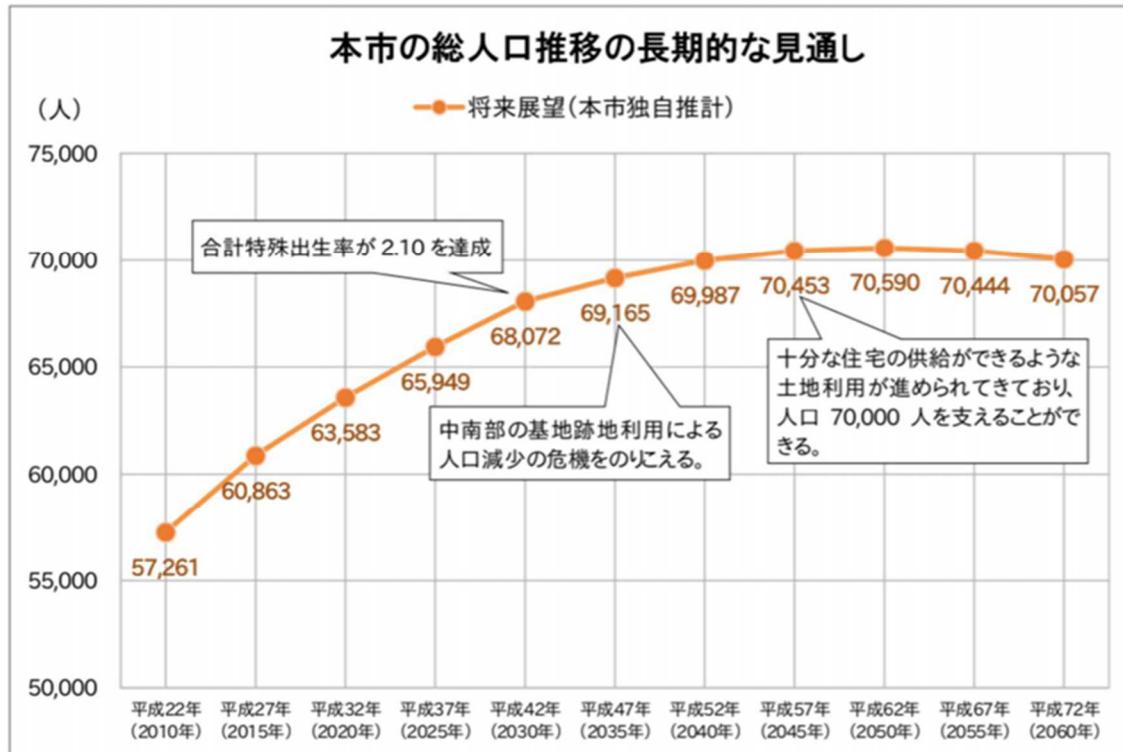
第1章 学校施設等に関する現状と課題

1. 人口動向及び学校施設等の現状

(1) 人口の推移

本市の人口は住民基本台帳によると平成 27 年には 62,566 人となっています。

平成 28 年 3 月に策定した「豊見城市人口ビジョンまち・ひと・しごと創生総合戦略」における独自推計では、2050 年の 70,590 人をピークに緩やかに減少し、2060 年には 70,057 人になると推計されています。なお、令和 2 年 12 月末現在において、本市の人口は 65,766 人となっており、平成 27 年時点より引き続き増加しています。



出典：豊見城市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略（平成 28 年 3 月）

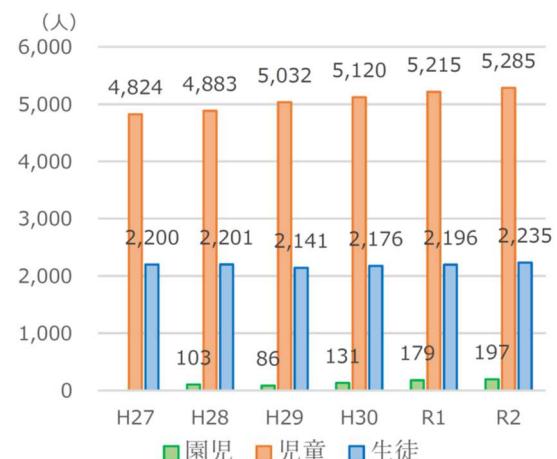
(2) 園児・児童・生徒数の推移

上田こども園は、平成 30 年度より幼保連携認定こども園として運用を開始しました。本市の園児数は平成 29 年度（上田幼稚園時）に 86 人であり、上田こども園となった平成 30 年度以降は増加を続けており、令和 2 年度には 197 人となっています。

小学校の児童数は増加を続けており、令和 2 年度には 5,285 人となっています。

中学校の生徒数は平成 29 年度に減少したものの、それ以降は増加傾向にあります。

図表. 園児・児童・生徒数の推移



出典：「豊見城市立学校適正規模調査業務 報告書（一部改訂）」（令和元年 10 月）

令和 2 年度データは市教育委員会の手持ち資料より抜出

(3) 学校別園児・児童・生徒数の推移

上記と同様に、平成 29 年度（上田幼稚園時）の園児数は 86 人で、平成 30 年度にこども園として運用が開始された際 131 人に増加し、それ以降も増加を続けています。

小学校別の児童数は、長嶺小学校及びとよみ小学校において減少傾向、伊良波小学校において横ばいでの推移が見られるものの、その他の小学校は増加傾向にあります。

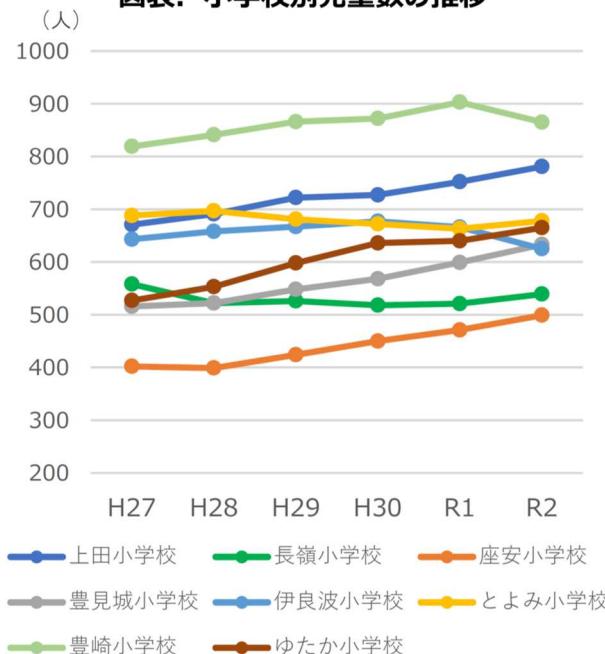
中学校別の生徒数は、長嶺中学校においてわずかに減少傾向が見られます。また、平成 27 年度と令和 2 年度を比較すると、豊見城中学校では生徒数が減少している一方、伊良波中学校では増加しています。

図表. 幼稚園別園児数の推移

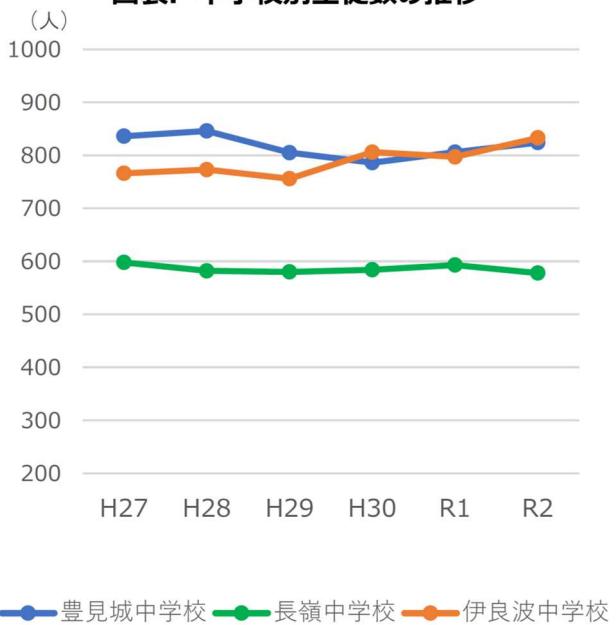
	H28	H29	H30	R1	R2
上田幼稚園	103	86	—	—	—
上田こども園	—	—	131	179	197

※上田こども園は「教育利用」及び「保育利用」の合計数にて記載

図表. 小学校別児童数の推移



図表. 中学校別生徒数の推移



出典：「豊見城市立学校適正規模調査業務 報告書（一部改訂）」（令和元年 10 月）

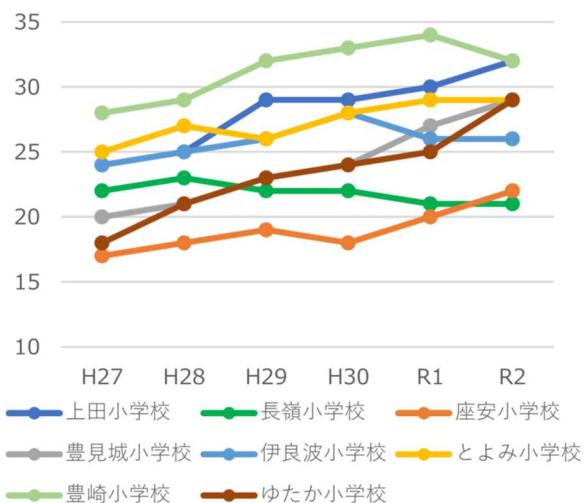
令和 2 年度データは市教育委員会の手持ち資料より抜出

(4) 学校別学級数の推移

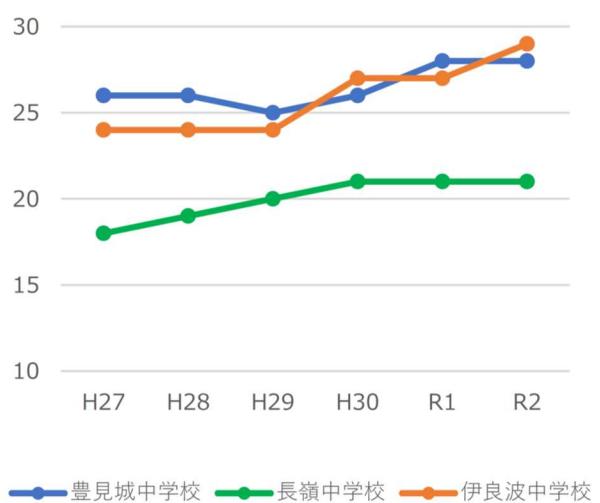
小学校は多くの学校において平成 27 年度と比較して増加しています。特に豊崎小学校は毎年増加を続けています。一方で、長嶺小学校においてはわずかながら減少傾向がみられます。中学校は 3 校すべてにおいて、平成 27 年度と比較すると増加しています。

なお、ここで示した学級数は普通学級と特別支援学級の総数となっています。

図表. 小学校別学級数の推移



図表. 中学校別学級数の推移



出典：「豊見城市立学校適正規模調査業務 報告書（一部改訂）」（令和元年 10 月）

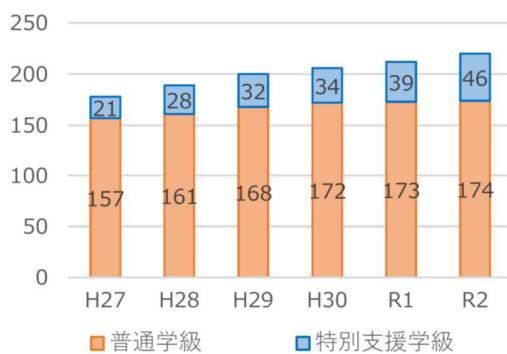
令和 2 年度データは市教育委員会の手持ち資料より抜出

(5) 小学校及び中学校における普通学級と特別支援学級の推移

小学校において、普通学級数及び特別支援学級数ともに増加傾向にあり、全体の学級数もまた年々増加していることが窺えます。特に、特別支援学級数は、平成 27 年度に比べ令和 2 年度では 2 倍以上に増加しています。

中学校において、普通学級数が横ばい状態なのに対し、特別支援学級数は平成 27 年度に比べ令和 2 年度では 2 倍に増加しています。

図表. 小学校における普通学級・特別支援学級の推移



図表. 中学校における普通学級・特別支援学級の推移



出典：「豊見城市立学校適正規模調査業務 報告書（一部改訂）」（令和元年 10 月）

令和 2 年度データは市教育委員会の手持ち資料より抜出

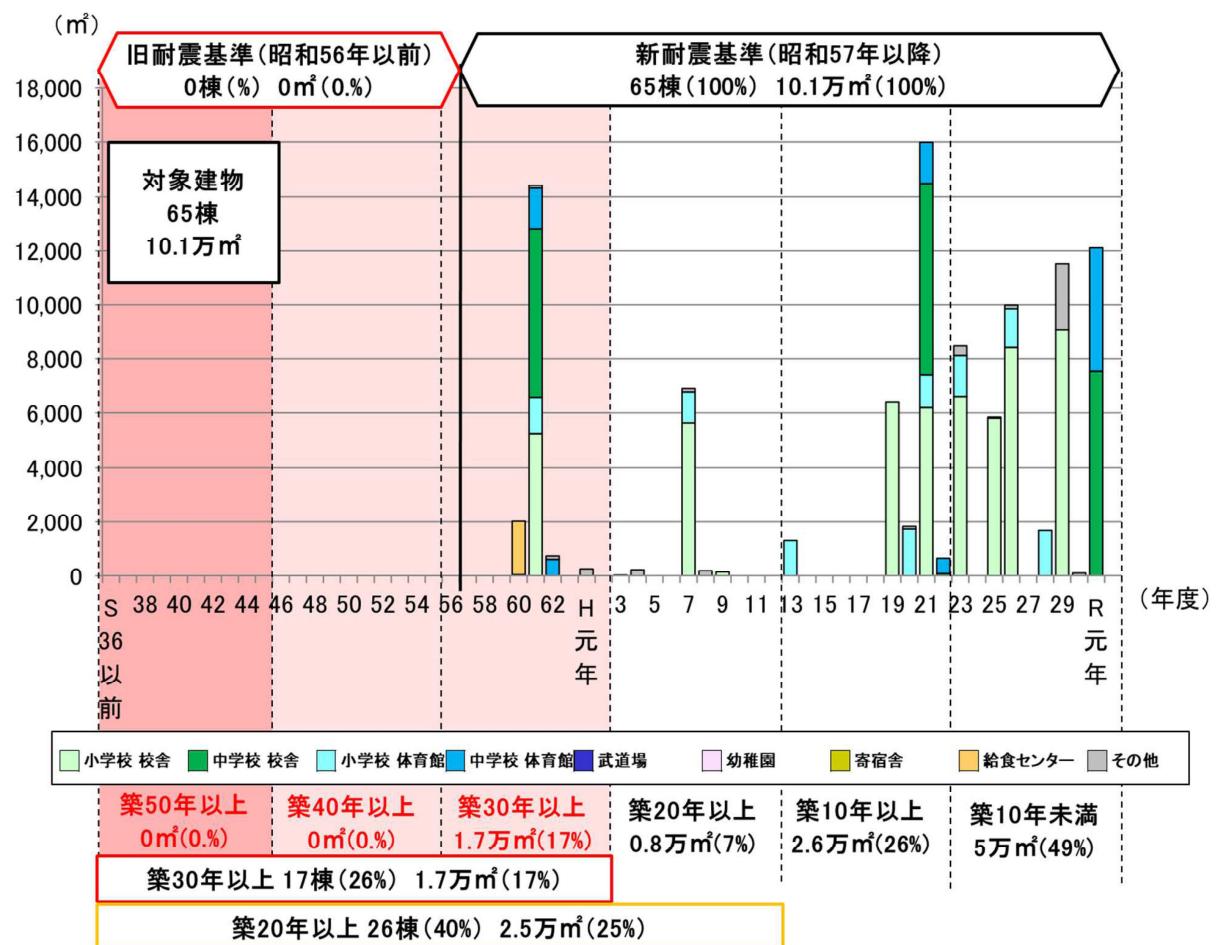
2. 学校施設等の現状

(1) 建築年度状況

学校施設等の全 65 棟が昭和 57 年以降に建設された新耐震基準の施設となっています。

また、築 30 年以上の施設 17 棟（約 26%）については、近年中に改築や大規模な改修などを実施すべき施設となり得るため、学校別の対策内容や整備時期について、財政状況を鑑みて歳出の平準化や整備手法の検討をする必要があります。

図表. 築年別整備状況



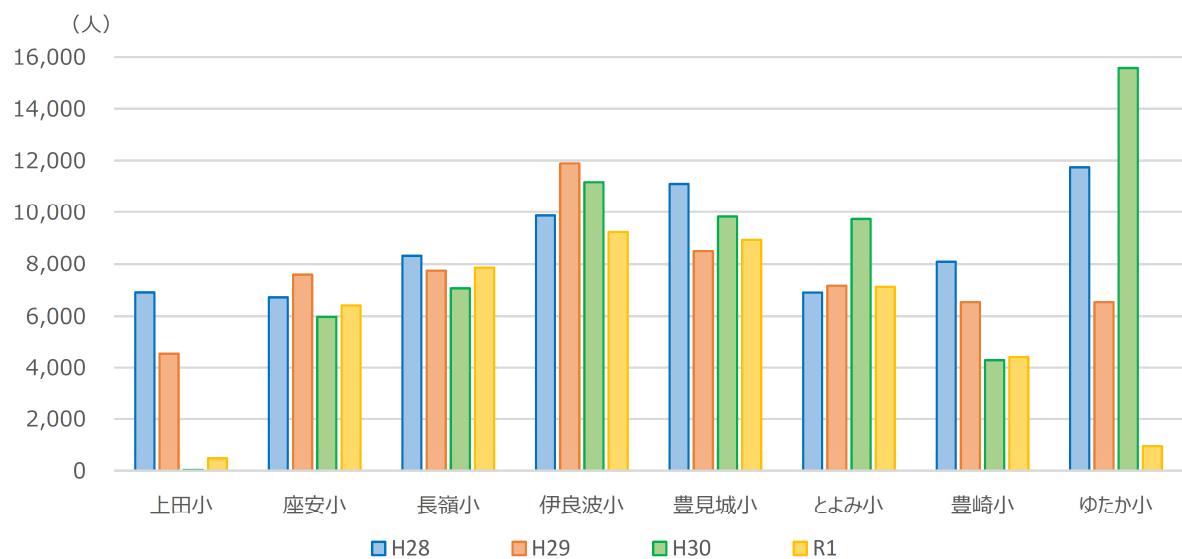
(2) 学校施設等の開放状況

学校施設等において、運動場及び屋内運動場の利用開放を行っており、その利用状況は以下グラフの通りです。なお、中学校は屋内運動場利用の夜間一般利用者のみの集計となっています。小学校の運動場・屋内運動場利用はそれぞれ児童の活動も含めた人数となっています。

運動場利用について、伊良波小学校及び豊見城小学校の年間利用状況が平均して高くなっています。また、平成 30 年度のゆたか小学校における利用者数が突出しています。

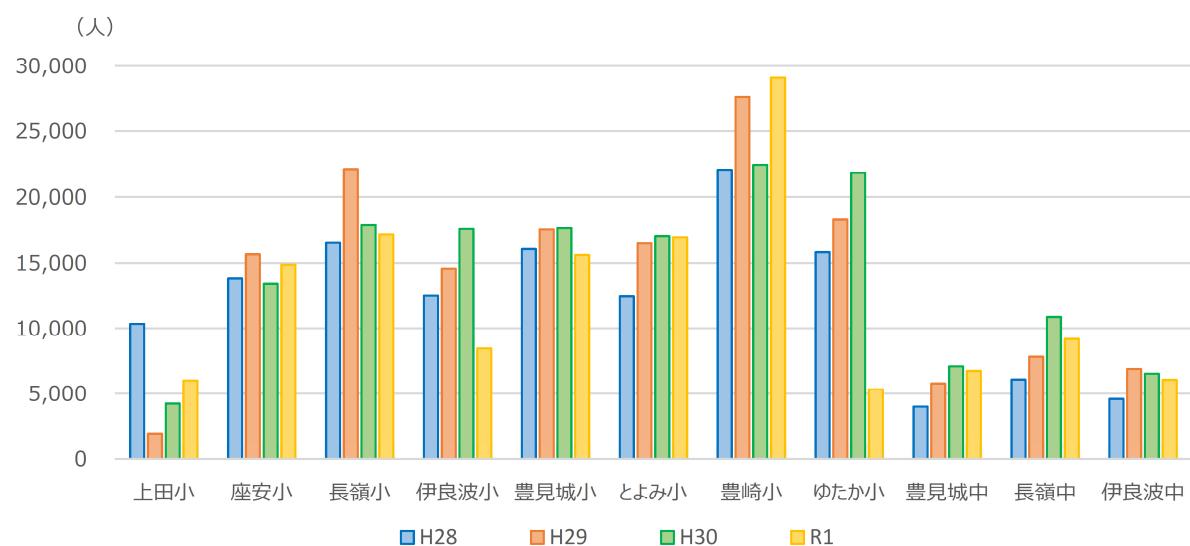
屋内運動場利用について、小学校は長嶺小学校及び豊崎小学校の年間利用状況が平均して高く、中学校は長嶺中学校の年間利用状況が高くなっています。

図表. 学校別運動場年間利用状況



出典：市教育委員会資料より

図表. 学校別屋内運動場年間利用状況

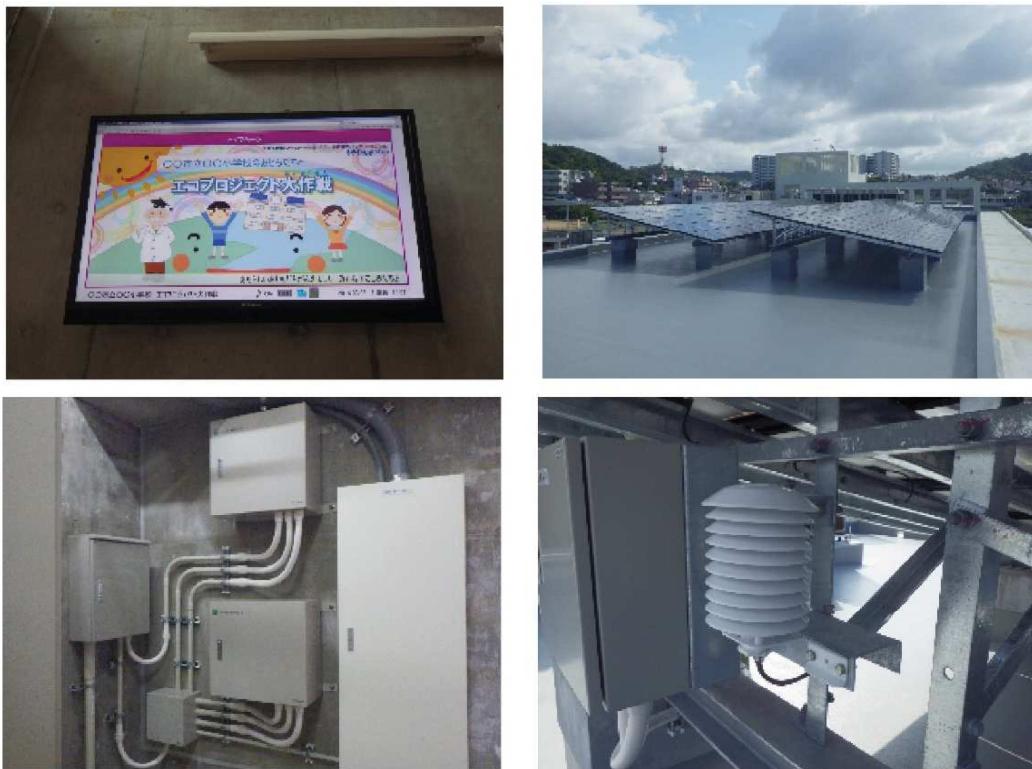


出典：市教育委員会資料より

（3）学校施設等における太陽光発電設備の設置

本市の学校施設等において、新エネルギーの活用に努め、環境に配慮した施設整備を行っています。

以下は、座安小学校の屋上に位置している太陽光発電設備の状況です。



撮影日：H26.3.17

（4）学校給食センターの現状

本市では、学校給食センター方式を採用しており、令和2年度時点では児童・生徒 7,250 人のほか、各学校施設職員等へ対して1日約 8,000 食を配給しています。既存施設においては築 35 年経過しており、建物や設備の老朽化が進んでいます。特に設備に対しては、不具合が生じた場合に更新等を行っていますが、衛生管理に関しては、区域区分（汚染・非汚染）が不明確であったり、ドライシステムの導入ができずウェットシステムをドライ運用している状況であったり等、「学校給食衛生管理基準」に適合していません。今後は基準へ適合させるとともに、HACCP の考え方に基づいた衛生管理の手法を取り入れ、安全で安心な学校給食を提供する施設とする必要があります。

さらに、学校給食センターの調理能力は最大 10,000 食となっていますが、本市の人口は継続して増加傾向にあり、今後の児童・生徒増加を鑑みると、調理能力の拡大を検討する必要があります。

以上の内容により、将来的な給食対応を検討するうえで、新增築や建替え等による調理能力ならびに施設規模の拡充が求められます。

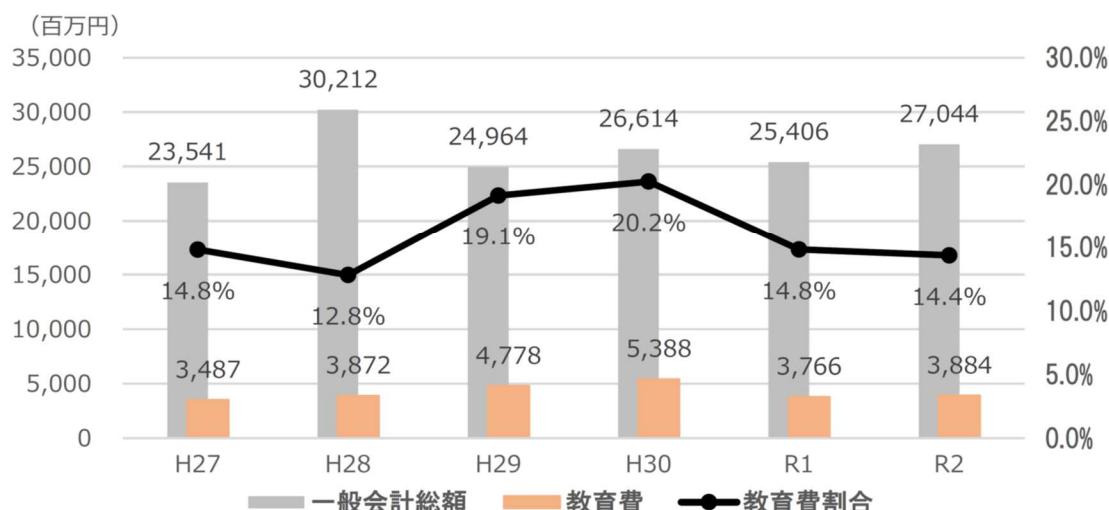
3. 学校施設等に係る行財政の状況

(1) 一般会計予算と教育費の推移

本市の令和2年度の一般会計予算の歳出は約270億円となっています。直近5か年の歳出額の推移をみると、年度ごとの増減はあるものの、約240億～300億円で推移しています。

教育費の割合をみると、平成27年度から令和2年度まで一般会計予算のおおよそ13%～20%で推移しており、令和2年度の教育費は約39億円となっています。

図表. 一般会計予算と教育予算の推移

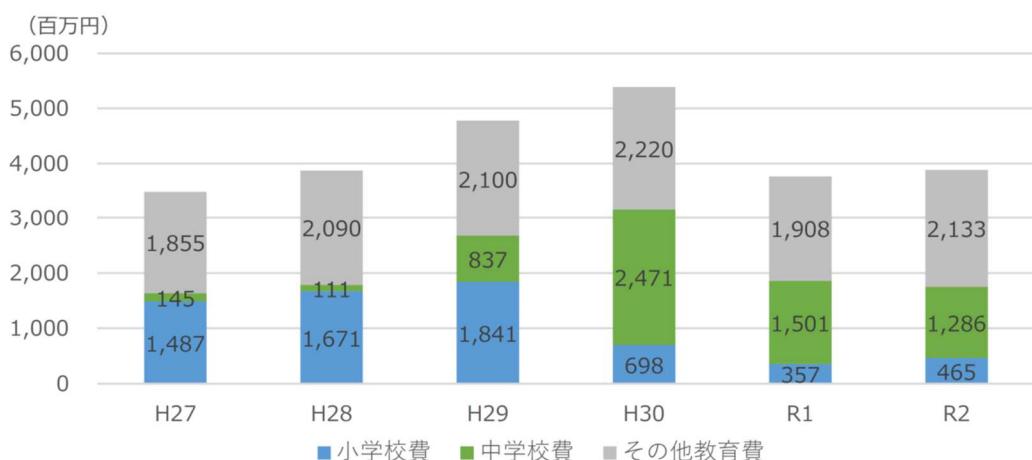


出典：「平成27～令和2年度 一般会計歳出（目的別）集計表」

(2) 教育予算の内訳

教育予算の内訳において、小学校費は約5億～18億円、中学校費は約1億～25億円で推移しています。平成27～29年度の小学校費、または平成29～令和2年度の中学校費はそれぞれ上田小学校・豊見城中学校の改築に要する投資的経費が大きな影響を与えています。

図表. 教育予算の推移

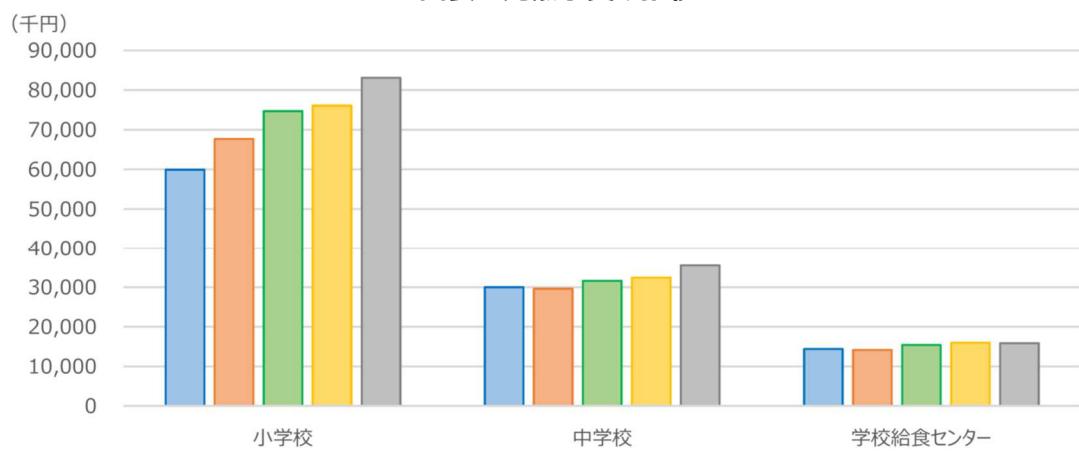


出典：「平成27～令和2年度 一般会計歳出（目的別）集計表」

(3) 光熱水費の推移

光熱水費は、学校給食センターにおいて横ばい状態ながら、全体的には増加傾向にあります。特に、小学校では令和2年度の光熱水費が平成27年度に比べ約1.4倍となっています。また、直近5か年の平均をみると、小学校は約7,200万円、中学校は約3,200万円、学校給食センターは約1,500万円となっています。

図表. 光熱水費の推移



出典：歳出予算執行状況表（明細）

(4) 学校修繕費の推移

近年の推移をみると、学校施設等の計画的な維持管理により、修繕費が抑えられています。一方で、学校給食センターでは、設備や調理機器の老朽化に伴い、より大きな修繕費が必要となっています。

直近5か年の平均値をみると、小学校は約110万円、中学校は約120万円、学校給食センターは約520万円となっています。

図表. 修繕費の推移



出典：歳出予算執行状況表（明細）

4. 学校施設等に関する現状と課題のまとめ

以上の内容に基づき、学校施設等の現状と課題を整理すると以下のとおりとなります。

人口動向	<ul style="list-style-type: none"> 豊見城市の人口は 2050 年をピークに緩やかに減少し、2060 年には 70,057 人になると推計されています。
園児・児童・生徒数 と学級数	<p>(こども園)</p> <ul style="list-style-type: none"> 上田こども園における園児数は年々増加しており、令和 2 年度には 197 人となっています。 <p>(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全児童数は年々増加しており、平成 28 年度の 4,883 人と比較し、令和 2 年度には 5,285 人となっています。 学級数は年々増加しており、特に特別支援学級数は平成 27 年度と比較し、令和 2 年度では 2 倍以上の 46 クラスとなっています。 <p>(中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全生徒数は近年増加傾向にあり、令和 2 年度には 2,235 人となっています。 学級数において、普通学級数は横ばい状態なのに対し、特別支援学級数は年々増加しており、平成 27 年度と比較し令和 2 年度では 2 倍の 17 クラスとなっています。
施設整備量	<ul style="list-style-type: none"> 令和 3 年度の豊見城中学校改築により、市内学校施設等の全 65 棟が昭和 57 年以降に建設された新耐震基準の施設となります。 各学校施設等の運動場及び体育館において利用開放を行っており、児童の活動や一般の夜間利用等、多くの方が利用されています。
維持管理費	<ul style="list-style-type: none"> 教育予算は一般会計予算の約 13%～20%（年平均約 42 億円）で推移しています。 教育予算の中で小学校費・中学校費は合計約 16 億～32 億円で推移しています。なお、直近 6 カ年において校舎改築が発生しており、建設にあたる投資的経費が大きく影響しています。 光熱水費は年々増加しており、なかでも小学校では平成 27 年度に比べ令和 2 年度の値が約 1.4 倍となっています。 計画的な維持管理により近年の修繕費は抑えられていますが、学校給食センターにおいては設備や調理機器の老朽化により大きな修繕費が必要となっています。
学校給食センター	<ul style="list-style-type: none"> 最大 10,000 食の調理能力に対し、現在 1 日あたり約 8,000 食の給食を実施しています。 築 35 年経過しており建物や設備の劣化が進んでいます。 区域区分（汚染・非汚染）やドライシステムの導入など「学校給食衛生管理基準」に適合していません。 本市は継続して人口増加傾向にあり、将来的な給食対応を検討する上では調理能力ならびに施設規模の拡充を検討する必要があります。

第2章 学校施設等の老朽化状況の把握

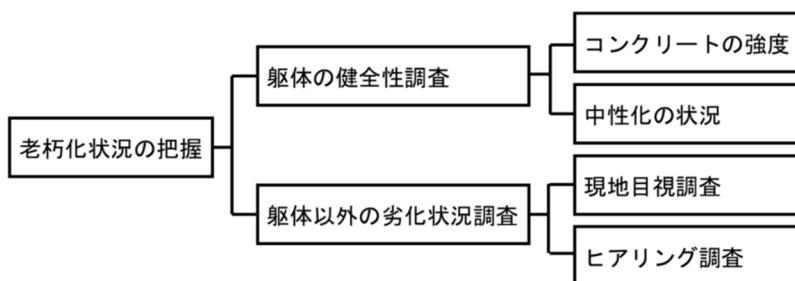
学校施設等の老朽化状況を把握するため、以下に示す「構造躯体の健全性調査」と「構造躯体以外の劣化状況調査」を行いました。

○構造躯体の健全性調査

建物からコンクリートの一部を採取し、コンクリート強度と中性化の進行を分析することで構造躯体の状態を把握します。

○構造躯体以外の劣化状況調査

現地目視調査と管理者へのヒアリングを行い、建物の劣化状況を把握します。



1. 構造躯体の健全性調査

(1) 調査対象施設

市内学校施設等のうち、校舎と屋内運動場、または学校給食センター本館の建築年度が 30 年以上経過している以下 3 施設・7 棟を対象に、躯体の健全性把握調査として圧縮強度と中性化試験を実施しました。本調査では各棟 1 か所ずつ（学校給食センターのみ、本館 5 棟にて 3 か所）コンクリート採取を行い、躯体の健全性調査を行いました。

施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年度	築年数
伊良波小学校	校舎	1	RC	2	3,710	S61	34
	屋内運動場	2	RC	2	1,331	S61	34
	校舎	7	RC	2	1,546	S61	34
伊良波中学校	校舎	1	RC	3	3,461	S61	34
	屋内運動場	2	RC	2	1,509	S61	34
	校舎	5	RC	3	2,744	S61	34
学校給食センター	本館	5	RC	2	1,799	S60	35

(2) 評価基準

■圧縮強度

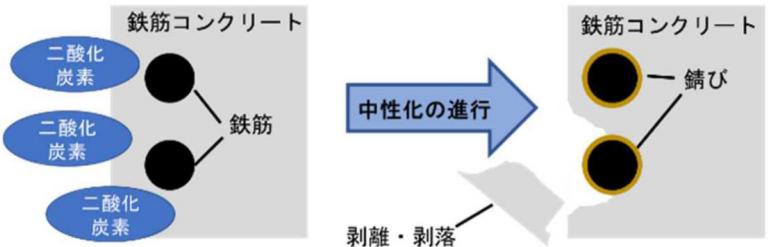
採取したコアを圧縮破壊試験によりコンクリート強度を測定し、 13.5N/mm^2 以上であれば長寿命化、 13.5N/mm^2 未満であれば改築として判定します。

※長寿命化と改築の判定は躯体の詳細な調査に加えて経済性や教育機能上などの観点から総合的に判断します。

■コンクリートの中性化

採取したコアから中性化深さを測定します。中性化深さは「著しく深い」「深い」「普通～浅い」の3区分で評価します。

中性化の深さの評価基準		
著しく深い	30 mm以上	鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さは、耐力壁、柱又ははりで30 mm以上と規定（建築基準法施行令第79条）されているため、中性化深さが30 mm以上のもの。
深い	20～30 mm	手つて金の腐食開始時期が中性化残り10 mm以下（コンクリート標準示方書〔設計編：標準〕）とされているため、中性化深さ20 mm以上のもの。
普通～浅い	20 mm未満	上記以下のもの。

中性化の意味	
中性化	<p>アルカリ性であるコンクリートが大気中の二酸化炭素によって中性に近づく現象です。中性化が進行し、コンクリート内部の鉄筋位置まで達すると鉄筋の腐食が進行し、コンクリートの剥離・剥落が起きやすくなります。</p> 
中性化深さの進行速度	中性化の進行速度は理論式と比較し考察します。理論式は浜田式 ($C = A \times \sqrt{t}$) を使用します。 ($C = \text{進行速度}$ 、係数 $A = 3.72$ 、 $t = \text{年数}$)

(3) 調査結果

■圧縮強度試験

全ての対象施設の圧縮強度が 13.5N/mm^2 以上あることから、「長寿命化」に適している施設であると判定します。

■中性化試験

伊良波小学校の屋内運動場を除く施設は、理論値に満たない結果となっています。

理論値とほぼ同等ながらも、中性化が進んでいる伊良波小学校の屋内運動場については、コンクリートの再アルカリ性や不良部材の交換等により躯体の健全化を検討する必要があります。

図表：調査結果一覧

施設名称	建物名称	棟番号	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年度	築年数	耐震基準	調査年度	圧縮強度 (N/mm ²)	中性化	
											測定値 (mm)	理論値 (mm)
伊良波小学校	校舎	1	RC	2	3,710	S61	34	新	2020	33.7	14.0	< 21.4
	屋内運動場	2	RC	2	1,331	S61	34	新	2020	38.5	23.0	> 22.9
	校舎	7	RC	2	1,546	S61	34	新	2020	43.9	0.0	< 21.7
伊良波中学校	校舎	1	RC	3	3,461	S61	34	新	2020	45.6	5.0	< 22.6
	屋内運動場	2	RC	2	1,509	S61	34	新	2020	35.5	7.0	< 21.7
	校舎	5	RC	3	2,744	S61	34	新	2020	33.8	13.0	< 22.6
学校給食センター	学校給食センター	5	RC	2	1,799	S60	35	新	2020	38.3	11.3	< 22.3

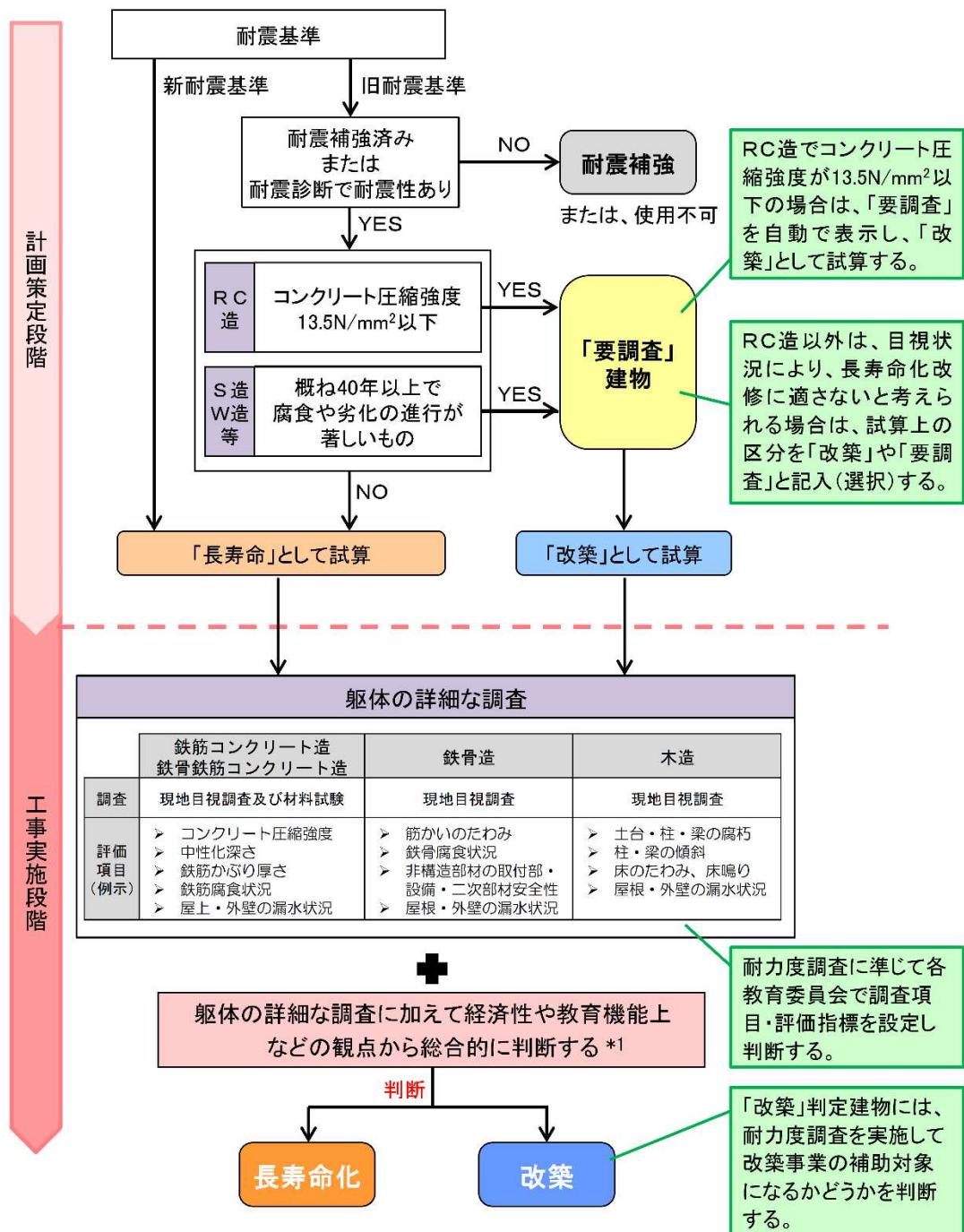


(4) 長寿命化の判定フロー

学校施設等の長寿命化判定は「学校施設等の長寿命化計画策定に係る解説書」に示された以下のフローに沿って行います。建物の耐震基準が新耐震基準であれば「長寿命化」として判定し、旧耐震基準であれば、コンクリートのコア抜き試験より躯体の健全性を判定します。

なお、本調査においては、耐久設計基準強度が導入された 1997（平成 9）年以前に建設された、標準的な耐久性を有する学校施設等のうち、調査時点で建築年度が 30 年以上経過している施設を対象とし、専門家による現地調査や材料試験等により確認しました。

建物の実施方針については、躯体の詳細な調査に加え、経済性や教育機能上などの観点から総合的に「長寿命化」もしくは「改築」と判断します。詳細な調査を行っていない建物については、今後躯体の状態を詳しく調査する必要があることから、「要調査」として判定します。



出典：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成 29 年 3 月）」

2. 車体以外の劣化状況調査

(1) 調査の概要

長寿命化の実施計画のため調査項目等を設定し、施設管理者へのヒアリング調査及び現地調査を行い、施設の棟別に評価や課題の洗い出しを行いました。施設の劣化状況については以下の 6 つの場所別にそれぞれの項目について、4 段階で評価しました。調査方法については、基本的に目視及び打診棒を使用した触診、高所は双眼鏡による目視としました。



評価	状態
A	概ね良好
B	部分的に劣化
C	広範囲に劣化
D	早急に対応する必要がある

調査日程：令和 2 年 10 月 12 日～23 日

調査対象：本計画対象施設のうち、建築年度が 5 年未満の施設（上田こども園、上田小学校）及び改築予定施設（豊見城中学校）を除く 10 施設。ただし、単独で建っている延床面積 200 m² 未満の倉庫は調査対象外。

調査項目	
屋上・屋根	防水層、屋根材、パラペット、手摺、フェンス 等
内装	床、壁、天井、窓、トイレ、出入口 等
外壁	外壁、仕上げ材、軒天・庇 等
機械設備	エレベーター、給排水設備、空調設備 等
電気設備	照明、アンテナ、放送設備 等
外構	ブロック塀、フェンス、擁壁、グラウンド、舗装路 等

(2) 健全度の算定

健全度は、施設の劣化状況（外構を除く）を総合的に評価する指標です。「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月）」を参考に、各部位の評価を「部位のコスト配分表」を用いて加重平均により100点満点で算定します。なお、部位のコスト配分は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に設定しています。

■部位の評価

評価	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

■部位のコスト配分表

部位	配分
1. 屋上・屋根	5.1
2. 外壁	17.2
3. 内装	22.4
4. 電気設備	8.0
5. 機械設備	7.3
計	60

■健全度の計算例（例）

部位	評価	評価	配分	点数
1. 屋上・屋根	B	75	× 5.1	= 383
2. 外壁	A	100	× 17.2	= 1720
3. 内装	C	40	× 22.4	= 896
4. 電気設備	A	100	× 8.0	= 800
5. 機械設備	A	100	× 7.3	= 730
合計				4529 ÷ 60 = 75
				健全度 75

(3) 調査結果による今後の対応検討

本調査結果による今後の対応内容について、前述（1）の4段階評価の項目に基づき、以下の通り検討しました。

評価	状態	対応内容
A	概ね良好	経過観察
B	部分的に劣化	経過観察のうえ、適宜修繕対応
C	広範囲に劣化	長寿命化事業に伴い、計画的な修繕対応
D	早急に対応する必要がある	早急に対応する

3. 車体以外の劣化状況調査 調査結果

(1) ヒアリング調査結果

各校の施設管理者を対象に、学校施設等老朽化等に関するヒアリング調査を実施しました。

なお、下記凡例のとおり、ヒアリング調査にて確認できた学校施設等の状態に関して区分を行いました。

■凡例

状態	内容
大規模改造事業等	施設の長寿命化を図るための整備事項、大規模改造事業等で対応するべきもの。
修繕	施設運営に伴い軽微または不測の事態、緊急性を伴う事項、施設維持管理業務の通常業務で対応するべきもの。
要望	学校運営に伴う改善要望やその他要望事項、検証及び検討を行い対応するべきもの。
修繕済	長寿命化計画策定年度にて、既に対応した事項

図表. ヒアリング調査結果

学校名	状態	ヒアリング調査結果
上田こども園	大規模改造等	<ul style="list-style-type: none"> ・湿気による壁のシミあり。 ・1階西側の園児トイレにて、つまりがある。 ・玄関出入口サッシにて、鍵の不良
	要望	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭西側のフェンスが低い。 ・雨天時、玄関から外廊下側の靴箱が濡れる。玄関に全員の靴箱を設置して欲しい。
	修繕済	<ul style="list-style-type: none"> ・雨天時、外廊下側の排水パイプから多量の雨水があふれ出て玄関側へ水が流れる。水止め処置をしているが、台風や大雨時は土嚢とブルーシートで毎回抑えている。
上田小学校	区分無し	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度に校舎改築完了した直後であるため、施設の状態は良好であると判断し、ヒアリング調査の実施なし。
長嶺小学校	大規模改造等	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生、6年生の廊下において、大雨時に雨漏りがある。修理しながら対応している。 ・トイレの自動水洗が壊れたことがあり、床あわれがある。 ・エレベーターのバッテリーに劣化あり。交換時期と思われる。 ・空調の効きが悪い。（PTA室・職員室） ・ドアやサッシはクレセント破損など全体的に劣化あり。その都度修繕している。 ・防球ネットが劣化し、上げ下げが負担になっている。
	修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレは、年間を通してつまりや水漏れが多数。また、圧縮ポンプの異音が稀にある。 ・体育館の放送が一時的に聞こえなくなる。現在は問題ない。 ・消火栓は外付けになり錆がひどい。誤作動があり、2年前に付近からクレームがあった。
	要望	<ul style="list-style-type: none"> ・スプリンクラーはあるが、運動場西側の近隣住民に砂ほこり被害あり。防塵ネット破損。 ・樹木が多く、職員・PTAで対応しきれない。枯れ木もあり、電線への影響が心配。

		<ul style="list-style-type: none"> 施設の劣化に対して校内で対応したのは山々だが、人員不足。週に1・2日、管理補助や巡回にて半日等、施設対応専任で施設課より派遣していただけないか。
	修繕済	<ul style="list-style-type: none"> 防犯カメラが1台ばかりしている。
座安小学校	大規模改造等	<ul style="list-style-type: none"> 各階に給食準備室（コンテナ置き）が必要。
	修繕	<ul style="list-style-type: none"> 1階女子トイレにおいて、4階プール側の男子トイレで水道蛇口からの水漏れあり。 6年3組、空調の効きが悪い。 ドア・サッシ、鍵の施錠不良やレバー破損あり。門扉の支えが歪み、開閉時に異音。 雨天時、防犯カメラの画面がくもる。 わかば2組において、クラス増のため手洗い場の設置に対応できていない。
	要望	<ul style="list-style-type: none"> プールの周辺や擁壁において、草が生い茂っている。コンクリート擁壁への変更やコンクリートで覆う等、草が生えない対策が必要。 木の枝の管理が難しい。電線に引っかかってしまう。 強風時など、砂ほこりが舞う。 三密を防げる教室の広さが欲しい。 教育相談室（不登校、登校渋りの児童が直接来られる教室）が必要。
豊見城小学校	大規模改造等	<ul style="list-style-type: none"> 運動場の下地が露出するため、土の追加を行っている。
	修繕	<ul style="list-style-type: none"> 1年生トイレの流れ不良。 2年なかよし教室のドア・サッシが不調。 防犯カメラが少ない。
	要望	
伊良波小学校	大規模改造等	<ul style="list-style-type: none"> 大雨が降ると雨漏りがある。 校舎・体育館において、パイプ類の劣化がある。 校舎全体トイレにおいて、ゴキブリが頻繁に出る。 校舎2階に設置されている鉄製の柵が錆びついており危険。 運動場周りのフェンスが破損している。 校舎・運動場間の通路が凸凹のため、児童が転んで怪我をすることがある。幸い、現時点では擦り傷程度で済んでいるが、大きな事故につながりかねない。 体育館南側通路において、敷地の傾斜により穴が空いている。
	修繕	<ul style="list-style-type: none"> 雨が降るとブレーカーが落ちることがある。（特に4年2組・3組が多い） 児童玄関の2か所において、ドアの開閉不良
	要望	<ul style="list-style-type: none"> 職員用女子トイレの洋式化をお願いしたい。 敷地内の排水溝につまりあり（土で埋まる）。何度も土の除去を行っているが、土地自体が傾斜しているため、根本的な解決に至っていない。 校舎屋上の時計（運動場側）時間の調整が容易でない。
とよみ小学校	大規模改造等	<ul style="list-style-type: none"> 体育館（舞台に向かい左奥側）において、大雨時に屋根より雨漏りがある。 フェンスの劣化あり。 校舎ひび割れあり。
	要望	<ul style="list-style-type: none"> 樹木の対応改善が必要。 グラウンドの砂ほこり改善が必要。

豊崎小学校	修繕	<ul style="list-style-type: none"> 4年2組ベランダ側後方の窓ガラス開閉に違和感あり。
	要望	<ul style="list-style-type: none"> 運動場の防球ネットが下がりきらない。台風対策の際、破損する可能性がある。
	修繕済	<ul style="list-style-type: none"> ネットの修理は令和2年度に対応済み。
ゆたか小学校	大規模改造等	<ul style="list-style-type: none"> 雨天後、運動場に溝ができる。 校舎内にひび割れがある。
	修繕	<ul style="list-style-type: none"> 雨漏り箇所は特定できていないが、台風後にあり得ないところに水たまりができていた。 給食受け室前のゴムバンパー劣化あり。
	要望	<ul style="list-style-type: none"> 体育館側の門がずれている。強度が弱い。 通学路の草がかなり長く伸びる。度々草刈りを行うが、学校の業務負担となっている。 雨天後の通学路が水浸しになり危険。こども園側の壁から道路に排水される。 草が生えるスペースあり。活用しようのない場所なため、コンクリートにしていただきたい。 施設を直す学校営繕のように、草木などの伐採をする営繕を行っていただきたい。（高い位置のブロック塀の草刈りや木々の伐採）
	修繕済	<ul style="list-style-type: none"> エレベーターは、待っている階でなく一度別の階に行ってから来る。ドアがすぐに閉まる。 体育館入口付近にて、接着剤が溶け出す現象あり。学校・保護者で対応しているが、根本的な解決・改善が必要。4年間言い続けている。
豊見城中学校	区分無し	<ul style="list-style-type: none"> 校舎更新中のため、ヒアリング調査の実施なし。
長嶺中学校	修繕	<ul style="list-style-type: none"> 北側2回トイレの流しセンサー故障あり。 1年3組、2年3組、特別支援学級において、クーラーの効きが悪い。 1階女子トイレ、換気扇の音が大きい。 校舎2階の教室2か所において、出入口の扉開閉不良。 武道場の出入口鍵が老朽化しており、開閉不良。 運動場のスプリンクラー、1基故障あり。近隣住民への配慮として、砂ほこり等への対応が必要。点検・改善を願う。（学校施設課と連携し、対応中）
	要望	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内北側において、近隣私有地から大樹木が校内に侵入している。
	修繕済	<ul style="list-style-type: none"> 校舎西側の2～4階、壁に雨漏りの症状あり。 防球ネットの破損あり。 火災警報器の誤作動が今年4月から3回発生。消防隊員から感知器の点検を早急に対応するよう依頼あり。 (報告)毎月、安全点検を行い、危険箇所等の修繕を行っている。
伊良波中学校	大規模改造等	<ul style="list-style-type: none"> 大雨が降ると雨漏りがある。 校舎・体育館において、パイプ類の劣化がある。 校舎全体トイレにおいてがきつい。 運動場周りのフェンスが破損している。
学校給食センター	修繕	<ul style="list-style-type: none"> 内部階段にて、雨漏り跡あり。また、1階天井にて以前に天井裏配管から雨漏りあり。

(2)劣化状況調査結果

過去5年以内に改築を行った上田こども園、上田小学校、豊見城中学校を除き、市内学校施設等10施設において、劣化状況調査を行いました。

各施設において、主に評価「D」と判定された箇所に関して、その状況を写真にて紹介します。

①長嶺小学校

- ・校舎（24棟）は外壁のクラックや床材の劣化などでC判定となっています。
- ・校舎（25棟）は屋上の配管劣化や外壁のクラック、内装壁のクラック、プールサイドの劣化などでC判定となり、健全度が49点となっています。
- ・校舎（26棟）は外壁のクラックや壁・床材の劣化・破損などでC判定となっています。
- ・屋外トイレ（28棟）は内装仕上げ材の劣化などでC判定となっています。
- ・外構はフェンスや防球ネットのワイヤー破損、舗装路における劣化などでC判定となっています。

②座安小学校

- ・校舎（22棟）は外壁仕上げ材の劣化や機械設備の劣化などでC判定となり、健全度が49点となっています。
- ・屋内運動場（19棟）は屋上ドレーンのつまりや外壁・軒天のクラック、内装における壁や床の劣化などでC判定となり、健全度が49点となっています。
- ・プール（18棟）は外壁・軒天のクラック、内装における壁や床の劣化、プール本体の劣化などでC判定となり、健全度が49点となっています。
- ・外構は擁壁の劣化や外壁のクラック、樹木被害などでC判定となっています。

③豊見城小学校

- ・16棟（校舎）は屋上防水の劣化や外壁・軒天のクラック、内装壁のクラックなどでC判定となっています。
- ・17棟（校舎）は外壁の塗装剥がれや内壁天井の劣化などでC判定となり、健全度が43点となっています。
- ・19棟（校舎）は多目的トイレの有無やトイレ周辺の手摺の有無でC判定となっていますが、その他の項目はAまたはB判定となっています。
- ・屋内運動場（18棟）は外壁・軒天のクラックや内装壁のクラック、仕上げ材の劣化などでC判定となっています。
- ・プール（12棟）は外壁のクラックや仕上げ材の剥がれ、内装壁や床のクラックなどでC判定となっています。
- ・外構は樹木倒れや土の廻せでC判定となっています。

④ 伊良波小学校

- ・ 校舎（1棟）は屋上の電気設備に劣化・破損が見られ、D判定となっています。健全度は39点です。
- ・ 外構において、舗装路の劣化や側溝の詰まりが見られ、C判定となっています。

■ 1棟（校舎）

D	屋上、電気設備の劣化・破損	D	屋上、電気設備の劣化・破損
			

■ 外構

C	舗装路、舗装の劣化	C	舗装路、舗装の劣化
			
C	側溝、側溝の詰まり	C	側溝、側溝の土の堆積
			

⑤ とよみ小学校

- ・ 校舎（1棟）は外壁のクラックや内装壁のクラックなどでC判定となり、健全度が49点となっています。
- ・ 校舎（6棟）は内装壁のクラックや床材の劣化などでC判定となっています。
- ・ 屋内運動場（2棟）は内装壁のクラックや仕上げ材の劣化などでC判定となっています。
- ・ 屋外トイレ・倉庫（3棟）は電気設備の劣化やトイレのつまりでC判定となっています。
- ・ プール（5棟）は外壁のクラックや内装壁のクラックなどでC判定となり、健全度が49点となっています。
- ・ 外構において、フェンスの劣化・破損が見られ、D判定となっています。

■外構

D	囲障、フェンスの劣化・破損	D	囲障、フェンスの劣化・破損
			

⑥ 豊崎小学校

- ・ 校舎（1棟）は内装壁のクラックでC判定となっています。
- ・ 校舎（2棟）は内装壁のクラックでC判定となっています。
- ・ 屋内運動場（3棟）は外壁の塗装剥がれや電気設備の劣化でC判定となり、健全度が49点となっています。
- ・ プール（4棟）は外階段の躯体不良や機械設備の劣化でC判定となっています。
- ・ 屋外トイレ・倉庫（5棟）は外壁の塗装剥がれでC判定となっています。
- ・ 外構はすべての項目において、AまたはB判定となっています。

⑦ ゆたか小学校

- ・ 校舎（1棟）は軒天のクラックや外壁の塗装剥がれなどでC判定となり、健全度が50点となっています。
- ・ 校舎（2棟）は多目的トイレの有無やトイレ周辺の手摺の有無でC判定となっていますが、その他の項目はAまたはB判定となっています。
- ・ 校舎（3棟）は外壁のクラックや外壁の塗装剥がれなどでC判定となっています。
- ・ 屋内運動場（4棟）は外壁の塗装剥がれや内装壁のクラックなどでC判定となり、健全度が50点となっています。
- ・ 屋外トイレ（5棟）はすべての項目において、AまたはB判定となっています。
- ・ 外構は舗装路の劣化や擁壁からの排水による水たまりなどでC判定となっています。

⑧ 長嶺中学校

- ・ 校舎（19棟）は軒天のクラックや内装壁のクラック、内装仕上げ材の劣化・破損などでC判定となり、健全度が44点となっています。
- ・ 屋内運動場（20棟）は屋根材の劣化や内装仕上げ材の劣化などでC判定となり、健全度が44点となっています。
- ・ 屋外トイレ（21棟）は多目的トイレの有無でC判定となっています。
- ・ 武道場（22棟）は軒天のクラックや内装仕上げ材の劣化などでC判定となっています。
- ・ 外構は擁壁の劣化や土の痩せなどでC判定となっています。

⑨ 伊良波中学校

- ・ 校舎（1棟）は外壁のクラックや内装仕上げ材の劣化などでC判定となっています。
- ・ 校舎（5棟）は配管や電気設備の劣化、床材の劣化などでC判定となり、健全度が43点となっています。
- ・ 屋内運動場（2棟）は外壁の爆裂や床のクラックなどでC判定となっています。
- ・ 屋外トイレ（3棟）はクレセントの劣化や内装仕上げ材の劣化などでC判定となっています。
- ・ 武道場（4棟）は内装天井の雨漏りなどでC判定となっています。
- ・ プール（7棟）は外壁のクラックや床材の劣化などでC判定となっています。
- ・ 外構において、フェンスの劣化・破損が見られ、D判定となっています。

■外構

D	囲障、フェンスの劣化・破損	D	囲障、フェンスの劣化・破損
			
D	囲障、フェンスの劣化・破損		
			

⑩ 学校給食センター

- ・ 本館（5棟）において、扉の劣化・破損が見られ、D判定となっています。健全度は29点です。
- ・ 受水槽において、底に爆裂があり、D判定となっています。
- ・ 合併処理施設は屋根材の破損や外壁のクラックなどでC判定となっています。
- ・ 外構は擁壁の劣化や舗装路の劣化などでC判定となっています。

■ 5棟（本館）

D	2階、扉の劣化・破損	D	2階、扉の劣化・破損
			

■受水槽

D	外壁、底の爆裂
	

4. 学校施設等の老朽化状況の把握（第2章まとめ）

（1）躯体の健全性

■ コンクリート強度

- ・ 全体的に健全です。建設後30年以上経過している建物でも高い強度を保持していることから、強度低下について経過年数の影響は小さいと考えられます。

■ 中性化深さ

- ・ 調査を実施した棟については、1棟をのぞき、理論値に満たない中性化深さとなっています。外壁改修により計画的な保全を行えば中性化の進行を抑制することができます。

■ 判定結果

- ・ 市内65棟の建物は、すべて耐震基準を満たしているため、「長寿命」として判定します。ただし、本調査対象施設のうち、築年数が30年以上経過している建物は15棟あり、そのうち7棟においてコア抜き調査を行った結果、十分なコンクリート強度があったことから、同様に「長寿命化」として判定します。
- ・ また、本調査対象外の8棟は、上記の通り、「長寿命」として判定していますが、他の学校施設等と比較すると早期に老朽化の恐れがあることから、今後躯体の状態について確認または詳しく調査する必要があります。

（2）躯体以外の劣化状況

■ 目視調査

- ・ 全体的に「外壁」、「内部仕上」にC・Dの評価が多くなっています。
- ・ とよみ小学校及び伊良波中学校では、外構におけるD判定が確認されました。
- ・ 伊良波小学校において、屋上の電気設備にてD判定が確認されました。

■ ヒアリング調査

- ・ 雨漏りが発生している学校があります。
- ・ トイレの洋式化を求める意見があります。また、排水不良や悪臭についての指摘があります。
- ・ 外構における草木の繁茂に対する意見があり、職員やPTAへの負担が指摘されています。
- ・ 扉の開閉不良、鍵の破損、サッシの劣化による窓の開閉不良があります。
- ・ 防球ネットの破損に関して、複数の指摘があります。

図表. 劣化状況調査結果一覧

■:築40年以上 ■:築30年以上

基準年 2020 年度

A	概ね良好	B	部分的に劣化
C	広範囲に劣化	D	早急に対応する必要がある

通し番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分								構造躯体の健全性				劣化状況評価					備考	
				構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年度		年数	中性化深さ		耐震安全性		長寿命化判定		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)	
							西暦	和暦		測定値 (mm)	理論値 (mm)	基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm)	試算上の区分					
10	長嶺小学校	校舎	24	小学校	校舎	RC	3	3,493	2007	H19	13			新			長寿命	B C C B B	52			
11	長嶺小学校	校舎	25	小学校	校舎	RC	4	1,545	2007	H19	13			新			長寿命	C C C B B	49			
12	長嶺小学校	校舎	26	小学校	校舎	RC	3	1,385	2007	H19	13			新			長寿命	B C C A B	55			
13	長嶺小学校	屋内運動場	27	小学校	体育館	RC	2	1,730	2008	H20	12			新			長寿命	B C C A B	55			
14	長嶺小学校	その他	28	小学校	その他	RC	2	103	2008	H20	12			新			長寿命	B B C A B	65			
15	座安小学校	プール管理棟	18	小学校	その他	RC	1	235	1992	H4	28			新			長寿命	C C C B B	49			
16	座安小学校	屋内運動場	19	小学校	体育館	RC	2	1,315	2001	H13	19			新			長寿命	C C C B B	49			
17	座安小学校	校舎	22	小学校	校舎	RC	4	5,806	2013	H25	7			新			長寿命	A C C C B	49			
19	豊見城小学校	プール管理棟	12	小学校	その他	RC	1	266	1989	H元	31			新			長寿命	B C C C B	47			
20	豊見城小学校	校舎	16	小学校	校舎	RC	3	3,766	2009	H21	11			新			長寿命	C C C A B	52			
21	豊見城小学校	校舎	17	小学校	校舎	RC	2	2,328	2009	H21	11			新			長寿命	B C C C C	43			
22	豊見城小学校	屋内運動場	18	小学校	体育館	RC	2	1,222	2009	H21	11			新			長寿命	B C C B B	52			
23	豊見城小学校	校舎	19	小学校	校舎	RC	2	97	2009	H21	11			新			長寿命	B A C A A	75			
24	伊良波小学校	校舎	1	小学校	校舎	RC	2	3,710	1986	S61	34	14 < 21.7	新	R2 33.7	長寿命	B C C D C	39	外壁塗装・屋上防水実施済み				
25	伊良波小学校	屋内運動場	2	小学校	体育館	RC	2	1,331	1986	S61	34	23 > 21.7	新	R2 38.5	長寿命	B C C C C	43	屋根全面改修実施済み				
26	伊良波小学校	その他	3	小学校	その他	RC	1	54	1986	S61	34			新			長寿命	B B C B B	62			
27	伊良波小学校	プール更衣室	4	小学校	その他	RC	1	84	1987	S62	33			新			長寿命	C B C B B	59			
28	伊良波小学校	プール機械室	5	小学校	その他	RC	1	43	1987	S62	33			新			長寿命	B C C B B	52			
30	伊良波小学校	校舎	7	小学校	校舎	RC	2	1,546	1986	S61	34	0 < 21.7	新	R2 43.9	長寿命	C C C B B	49	外壁塗装・屋上防水実施済み				
31	とよみ小学校	校舎	1	小学校	校舎	RC	2	3,807	1995	H7	25			新			長寿命	C C C B B	49	外壁塗装・屋上防水実施済み		
32	とよみ小学校	屋内運動場	2	小学校	体育館	RC	2	1,149	1995	H7	25			新			長寿命	B B C C B	57	外壁塗装・屋上防水実施済み		
33	とよみ小学校	その他	3	小学校	その他	RC	2	100	1995	H7	25			新			長寿命	B B C C B	57			
35	とよみ小学校	プール管理棟	5	小学校	その他	RC	1	147	1997	H9	23			新			長寿命	C C C B B	49			
36	とよみ小学校	校舎	6	小学校	校舎	RC	1	1,832	1995	H7	25			新			長寿命	B B C B B	62	外壁塗装・屋上防水実施済み		
37	豊崎小学校	校舎	1	小学校	校舎	RC	4	4,210	2011	H23	9			新			長寿命	B B C A B	65			
38	豊崎小学校	校舎	2	小学校	校舎	RC	3	2,405	2011	H23	9			新			長寿命	B B C A B	65			
39	豊崎小学校	屋内運動場	3	小学校	体育館	RC	2	1,500	2011	H23	9			新			長寿命	A C C C B	49			
40	豊崎小学校	プール管理棟	4	小学校	その他	RC	1	190	2011	H23	9			新			長寿命	B B B A A	81			
41	豊崎小学校	その他	5	小学校	その他	RC	1	140	2011	H23	9			新			長寿命	B C B B A	68			
44	ゆたか小学校	校舎	1	小学校	校舎	RC	4	3,083	2014	H26	6			新			長寿命	B C C C A	50			
45	ゆたか小学校	校舎	2	小学校	校舎	RC	3	1,661	2014	H26	6			新			長寿命	A B C A A	70			
46	ゆたか小学校	校舎	3	小学校	校舎	RC	4	3,703	2014	H26	6			新			長寿命	B C C A A	58			
47	ゆたか小学校	屋内運動場	4	小学校	体育館	RC	2	1,402	2014	H26	6			新			長寿命	B C C C A	50			
55	長嶺中学校	校舎	19	中学校	校舎	RC	4	7,089	2009	H21	11			新			長寿命	C C C C B	44			
56	長嶺中学校	屋内運動場	20	中学校	体育館	RC	2	1,485	2009	H21	11			新			長寿命	C C C C B	44			
57	長嶺中学校	その他	21	中学校	校舎	RC	1	83	2010	H22	10			新			長寿命	B B C B A	65			
58	長嶺中学校	武道場	22	中学校	体育館	RC	2	580	2010	H22	10			新			長寿命	B C C B A	55			
59	伊良波中学校	校舎	1	中学校	校舎	RC	3	3,461	1986	S61	34	5 < 21.7	新	R2 37.7	長寿命	B C C C B	47	外壁塗装・屋上防水実施済み				
60	伊良波中学校	屋内運動場	2	中学校	体育館	RC	2	1,509	1986	S61	34	7 < 21.7	新	R2 35.4	長寿命	B C C C B	47	外壁塗装・屋上防水・屋根張替実施済み				
61	伊良波中学校	その他	3	中学校	校舎	RC	1	34	1986	S61	34			新			長寿命	B B C C B	57			
62	伊良波中学校	武道場	4	中学校	体育館	RC	2	625	1987	S62	33			新			長寿命	B B C C B	57	外壁塗装・屋上防水実施済み		
63	伊良波中学校	校舎	5	中学校	校舎	RC	3	2,744	1986	S61	34	13 < 21.7	新	R2 41.4	長寿命	B C C C C	43	外壁塗装・屋上防水実施済み				
65	伊良波中学校	プール管理棟	7	中学校	その他	RC	1	201	1996	H8	24			新			長寿命	B C C B B	52	コア抜き3か所の平均値を採用		
67	学校給食センター	給食センター	5	給食センター	給食センター	RC	2	1,799	1985	S60	35	15 < 22.0	新	R2 38.3	長寿命	C C D C C	29					
68	学校給食センター	その他	-	給食センター	その他	0	0	35	1985	S61	35			新			長寿命	B D C C C	34			
69	学校給食センター	その他	-	給食センター	その他	0	0	142	1985	S62	35			新			長寿命	C C C B B	49			

第3章 学校施設等の目指すべき姿

上位関連計画や学校施設等の現状と課題、学校施設等の老朽化状況などを踏まえ、学校施設等の目指すべき姿を以下に設定します。

① 安全・安心が確保された教育環境の確保

老朽化が進む施設において、内外壁等の落下防止や雨漏り、設備配管等の老朽化対策を推進し、子どもたちが安心して学べる環境を確保します。災害時には地域の防災拠点としての役割を担っていることから、災害時に備えた防災機能の強化を行います。

② 学校施設等の快適性向上

学校施設等において、その機能や性能を現在の学校に求められる水準まで引き上げ、定期的な点検などを行い、安全・安心な施設環境を確保します。施設整備にあたっては、長寿命化によりライフサイクルコスト（以下、「LCC」という。）を縮減し、持続可能な学校施設等を目指します。また、将来の人口動向に応じた、学校施設等の適正配置を行っていきます。なお、今後の学校施設等の建替えや新築にあたっては、民間活力の導入も踏まえた検討を行います。

ユニバーサルデザインに配慮し、トイレの洋式化やバリアフリー化を推進し、地域の方々も含め学校施設等を利用する全ての人が利用しやすい環境づくりを目指します。

③ 学習環境の質的向上

時代の変化に応じて、求められる学習環境は多様化しています。学校施設等においては、「豊見城市デジタルファースト宣言（令和2年2月）」やGIGAスクール構想のもと、ICT環境整備とその運用に関する取組みを進めています。引き続き学校施設等におけるICT強化を図り、より充実した学習環境の整備を行います。

④ 環境に配慮した学校施設等

今後の学校施設等においては、「豊見城市地域新エネルギービジョン（平成21年2月）」の検討成果に基づき、太陽光発電パネルの導入を進める等、新エネルギーの活用に努め、環境に配慮した施設整備を行います。

⑤ 地域コミュニティの拠点となる学校施設等

学校の新設や建替えの際には、地域と学校との連携を推進するため、地域連携室の整備に努めます。

また、学校施設等を活用し、学習やスポーツ、文化活動、交流活動など多様な体験や交流機会を提供する拠点となることを目指します。

第4章 学校施設等整備の基本的な方針と施設整備水準

1. 学校施設等整備及び長寿命化等の基本的な方針

(1) 学校施設等整備の基本的な方針

① 安全・安心で利用しやすい学校施設等の整備

築年数や劣化状況等を総合的に勘案したうえで学校施設等に優先順位を付け、目標とする期間まで使用できるよう適切な維持管理を行い、建物の健全性や機能回復のための改修、修繕等を計画的に進めます。また、災害時の避難拠点として利用できるように、災害対策の整備を図ります。

② 快適な学校施設等に向けた整備

上記のように計画的な改修や修繕等を行うにあたり、損傷が軽微な早期段階から予防的な修繕等を実施することで、機能・性能の保持・回復を図る「事前保全」を行います。これにより、学校施設等の長寿命化の推進を図り、LCC を縮減することで、持続可能な学校施設等の整備を図ります。また、園児・児童・生徒をはじめ施設利用者が安全・安心に利用できるユニバーサルデザインを取り入れた施設の整備を図ります。

なお、今後の学校施設等の整備においては、将来の人口動向等を踏まえた適切な施設配置を行い、また、学校施設等の建替えや新築の際には、民間活力の導入を踏まえて検討します。

③ 充実した学習環境の整備

豊見城市デジタルファースト宣言や GIGA スクール構想を踏まえ、電子黒板やパソコン、LAN 整備等の教育設備の充実に努め、ICT 強化に向けた学習環境の整備に取組みます。

④ 環境に配慮した学校施設等の整備

豊見城市地域新エネルギービジョンの内容に基づき、学校施設等における太陽光発電パネルの導入等を推進し、新エネルギーの活用を図る環境に配慮した学校施設等の整備を検討します。

⑤ 地域拠点としての学校施設等の整備

地域の交流の拠点、地域コミュニティの拠点として、生涯学習スポーツ利用のための屋内運動場や運動場整備、生涯学習の場として地域連携室の整備に取組みます。

(2) 長寿命化及び予防保全の方針

長寿命化とは、施設をなるべく長く使い続けるため、必要な整備を適切に行うことです。本計画では「長寿命化改良」「大規模改造」「予防改修」「定期更新」「応急修繕」（以下、「改修等」という。）といった長寿命化手法により、建物の目標使用期間に応じて適切に改修周期を構築し、持続可能な財政運営を進めながら学校施設等の長寿命化を図っていきます。

また、本市の著しい財政状況を踏まえ、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を実現するため、長寿命化手法については費用対効果など経済的な比較検討を行い、施設の更新を含めて優位となる手法を選択します。

(3) 学校施設等の目標使用期間の設定

① 目標使用期間の設定方法

日本建築学会の「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 (2015)」及び「建築物の耐久計画に関する考え方 (1988)」を参考に、躯体コンクリートの耐用年数を 50 年程度から 80 年程度の範囲内で 2 つに区分しました。

なお、標準的な躯体コンクリートであっても、適切に維持管理を行えば最長で 100 年持ち堪え、近年建設された学校施設等のように、高い強度のコンクリートを使用しているものは大規模補修が不要で 100 年程度の使用が期待できるとされています。

■構造躯体の耐用年数

構造躯体の耐用年数について、『建築物の耐久計画に関する考え方』(社団法人日本建築学会)では、以下のとおり用途に応じて構造別に目標耐用年数を設定しています。

【建築物全体の望ましい目標耐用年数の級】

用途	鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 れんが造	木造		
	鉄骨鉄筋コンクリート造		重量鉄骨		軽量鉄骨				
	高品質 の場合	普通の品質 の場合	高品質 の場合	普通の品質 の場合					
学校・官庁	Y100 以上	Y60 以上	Y100 以上	Y60 以上	Y40 以上	Y60 以上	Y60 以上		
住宅・事務所・病院	Y100 以上	Y60 以上	Y100 以上	Y60 以上	Y40 以上	Y60 以上	Y40 以上		
店舗・旅館・ホテル	Y100 以上	Y60 以上	Y100 以上	Y60 以上	Y40 以上	Y60 以上	Y40 以上		
工場	Y40 以上	Y25 以上	Y40 以上	Y25 以上	Y25 以上	Y25 以上	Y25 以上		

【目標耐用年数の級の区分の例】

級	目標耐用年数		
	代表値	範囲	下限値
Y150	150 年	120~200 年	120 年
Y100	100 年	80~100 年	80 年
Y60	60 年	50~80 年	50 年
Y40	40 年	30~50 年	30 年
Y25	25 年	20~30 年	20 年

② 学校施設等の目標使用期間

各学校施設等の目標使用期間は上記の資料等を参考に 80 年程度と設定します。ただし、学校給食センターは設備・調理機器の更新や施設の老朽化状況、さらに市内児童・生徒数の増加傾向を勘案し、45 年程度を目標使用年数と設定します。

区分	目標使用期間
学校施設等	80 年程度
学校給食センター	45 年程度

(4) 学校施設等の改築及び改修等の手法と改修周期の設定

設定した目標使用期間まで施設を使用するためには、必要な改築及び改修等の周期を設定し、定期的に改修等を行う必要があります。学校施設等の改修周期については、建物の耐震性や躯体の健全性・躯体以外の劣化状況、外壁塗装・屋上防水・建築設備等の更新サイクルなどを踏まえ、以下のとおりとします。

①応急修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設等の危険箇所の応急修繕を行います。 ・劣化状況評価で「D」となった児童や生徒に危険を及ぼしかねない箇所を中心に、計画策定後、応急的な修繕を実施します。 										
②定期更新	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の建築設備等について、機能回復を図るために不具合が生じる前に交換します。定期更新の周期は、公益社団法人ロングライビル推進協会発行の「建築物の LC 評価用データ集」等を参考に対象物の耐用年数に応じて個別に定めます。 <p style="text-align: center;">【表 対象となる主な建築設備等の更新周期】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象となる主な建築設備等</th><th>更新周期</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昇降機、機械ポンプ</td><td>30 年程度毎</td></tr> <tr> <td>受変電設備</td><td>25 年程度毎</td></tr> <tr> <td>空調機器</td><td>15 年程度毎</td></tr> <tr> <td>給食設備、大型給食備品</td><td>15 年程度毎</td></tr> </tbody> </table>	対象となる主な建築設備等	更新周期	昇降機、機械ポンプ	30 年程度毎	受変電設備	25 年程度毎	空調機器	15 年程度毎	給食設備、大型給食備品	15 年程度毎
対象となる主な建築設備等	更新周期										
昇降機、機械ポンプ	30 年程度毎										
受変電設備	25 年程度毎										
空調機器	15 年程度毎										
給食設備、大型給食備品	15 年程度毎										
③予防改修 (長寿命化改良)	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の長寿命化を図るための予防的な外部改修工事及びその他、水道、電気、ガス管等のライフラインの更新・改修を実施します。 ・改修時期は建築後 20 年以上経過した時点又は⑤長寿命化後 20 年以上経過した時点 										
④大規模改造 (質的整備)	<ul style="list-style-type: none"> ・上記に加え、社会的ニーズを踏まえ機能向上（エレベーターの設置や ICT 教育、トイレ等衛生環境の改善等）を行う整備です。 ・改修時期は建築後概ね 40 年とします。 <p><u>想定する整備内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ改修（洋式化） ・法令に準ずる改修 ・少人数学級に対応するための改修 ・バリアフリー化（エレベーターの設置） 										
⑤長寿命化 (長寿命化改良)	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の耐久性を高めるために、屋上防水や外壁・内装などを一体的かつ大規模に改修するとともに、社会的ニーズを踏まえ機能向上を行う整備です。 ・改修時期は建築後概ね 40 年以上経過した時点とし、その後 30 年以上使用するものとします。 										
⑥改築	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化による構造上危険な状態や教育上著しく不適当な状態にある既存の施設を取り壊し、新しい施設へ建替える整備です。 ・改築の更新周期は、原則として建物の耐震性や躯体の健全性・躯体以外の劣化状況等により 50 年程度から 80 年程度の間で定めます。 										

※改築を実施する場合は別途耐力度調査を実施し、調査結果をもとに総合的に判断する。

2. 改築及び改修等の整備水準

学校施設等の改修等の整備内容は、文部科学省など国の交付金対象事業の内容に準じた整備、定期的な更新が必要な整備及び備品の交換、その他本市の関連計画等に定めのある事項について予算の範囲内で行うとともに、定期点検等の結果に基づき法令への適合化を図ります。

整備水準は、躯体及び躯体以外の各部材や各施設が、次の改修時まで使用上の支障を生じさせない程度の性能を有することを目安とし、費用対効果を考慮したうえでなるべく改修時点における標準的な仕様や工法により整備します。また、学校間で教育環境に差が生じないよう、できるだけ整備水準の統一を図ります。

■改修・改造事業の具体例（園舎・校舎・屋内運動場など）

事業	予防改修 (長寿命化改良)	大規模改造（質的整備）	長寿命化 (長寿命化改良)
実施時期	建築後 20 年以上経過した時点又は長寿命化後 20 年以上経過した時点	概ね築 40 年目	建築後概ね 40 年以上経過した時点
躯体	・躯体のひび割れ、脆弱部分の補修	—	・コンクリートの中性化対策 ・鉄筋の腐食対策 ・鉄筋のかぶり厚さの確保
外部仕上げ	・屋上の防水層の全面的な改修 ・躯体の長寿命化を目的とした外壁改修 ・躯体のひび割れ、脆弱部分の補修 ・外壁の目地部分や建具周りのシーリング材の更新 ・外部建具の更新	—	・耐久性に優れた材料等への取り替え (劣化に強い塗装・防水材等の使用)
内部仕上げ	—	・少人数指導に対応させるために行う内部改造工事 ・建具の断熱性・気密性を向上するための建具改修工事（二重サッシ化、服装ガラス、熱線、反射ガラスへの交換等） ・余裕教室又は普通教室を特別支援学級に模様替えを行う工事	・少人数指導など多様な学習内容・学習形態による活動が可能となる環境の提供 ・断熱、二重サッシ、日射遮蔽等の省エネルギー対策
設備	・その他付帯設備の更新・改修（水道、電気、ガス管等のライフラインの更新）	・高効率型照明器具、点滅・調光装置を導入する工事 ・エネルギー型空調（冷暖房設備）を導入する工事 ・内装木質化等に係る工事 ・トイレの和式便器を洋式便器に替える工事 ・施設バリアフリー化の工事（エレベーター・自動ドア・スロープ等） ・防犯対策の観点から必要な工事（門、フェンス、防犯監視システム等）	・維持管理や設備更新の容易性の確保
活用できる補助事業	・長寿命化改良事業-（2）予防改修事業 1 校当たり 3,000 万円以上の事業を対象とし、1 億円を限度とする。 交付金の算定割合 1/3 建築後 20 年以上 40 年未満であるもの又は長寿命化改良後 20 年以上経過したもののが対象	・大規模改造（質的整備） 上限額は 2 億円 交付金の算定割合 1/3	・長寿命化改良事業-（1）長寿命化事業 1 校当たり 7,000 万円以上の事業を対象とする。 交付金の算定割合 1/3 建築後 40 年以上を経過したもの。今後 30 年以上使用する予定のものが対象

※各事業は施設の状態に合わせて実施時期を検討しながら行う。

■新增築・改築事業の具体例（学校給食センター）

事業	学校給食施設の新增築 (共同調理場の場合)	学校給食施設の改築 (共同調理場の場合)
概要	学校給食を開設するため給食施設をドライシステムにより新增築する事業	老朽化等により給食施設をドライシステムにより改築する事業
附帯施設	かま、上流し、下流し、調理台、食器洗浄機、食器消毒保管機、ボイラー、かくはん機、野菜裁断機、球根皮むき機、揚物機、焼物機、蒸物機、冷蔵庫、真空冷却器、中心温度管理機能付き調理器、エアカーテン、エアシャワー、手指殺菌機、厨茶処理機、自家発電機、排水処理施設	
活用できる補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食施設整備事業 別に定める児童生徒数及び施設の区分に応じ別に定める面積に1平方メートル当たりの建築の単価を乗じた額 附帯施設は、児童生徒数及び施設の区分に応じ別に定める額を限度額として文部科学大臣が必要と認める額 交付金の算定割合 1/2 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食施設整備事業 別に定める児童生徒数及び施設の区分に応じ別に定める面積に1平方メートル当たりの建築の単価を乗じた額 附帯施設は、児童生徒数及び施設の区分に応じ別に定める額を限度額として文部科学大臣が必要と認める額 交付金の算定割合 1/3

※附帯施設は、原則として当該施設の新・増改築と併せて整備する場合に対象とする。

※附帯施設のうち、厨茶処理機及び自家発電は、当該品目を現有しない施設において、原則として当該施設の新・増改築と併せて新規に整備を図る場合に対象とする。

3. 維持管理の項目・手法等

予防保全を実施していくためには、故障や不具合の兆候を早期に発見して処置していくことが重要です。そのため、施設管理者による日常点検の実施のほか、各種定期点検を適切に実施するなど学校施設等の状態を把握し、計画的な修繕を実施していく必要があります。

日常点検により確認された比較的小規模な不具合等については、児童生徒の安全確保の観点から学校運営に支障の無いように修繕します。比較的大規模な不具合や機器類の修繕については、下表の調査・点検の実施及びその結果を踏まえて検討します。予防保全の方針に従い、原則として、施設の築年数に応じて予防改修や大規模改造等を行うものとしますが、緊急性の高い不具合については、その都度必要に応じて応急修繕を実施します。

【表 主な点検・調査内容と時期】

調査・点検		主な調査・点検内容（本計画の実態調査項目に基づく）	調査・点検の時期
法定点検	建築基準法点検 (建築物)	敷地及び地盤/建築物の外部/屋上及び屋根/建物の内部/避難施設/他	3年毎
	(建築設備)	排煙設備/非常用の照明設備/防火設備	1年毎
	(昇降機)	昇降機	1年毎
	消防法点検 (消防設備)	消火設備/警報設備/避難設備/消防用水/消火活動上必要な施設/他	6か月毎（機器点検） 1年毎（総合点検）
	電気事業法点検 (電気設備)	受配電設備/蓄電設備/太陽光発電/電気設備/照明設備/設備収納盤/受変電設備/他	1年毎
上記以外	非構造部材の耐震状況調査	学校施設等の非構造部材について、さびやひび割れなどの劣化状況や部材の取り付け工法など	1年毎
	劣化状況調査	屋上・屋根/内装/外壁/機械設備/電気設備/外構	概ね5年毎
	アンケート調査	施設管理者アンケート	概ね5年毎
根拠法令等		建築基準法（建築物・昇降機）、消防法（消防設備）、電気事業法（電気設備）	

第5章 長寿命化の実施計画

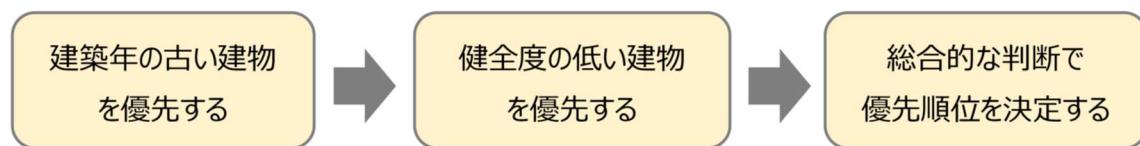
1. 改築及び改修等の優先順位付け

長寿命化の実施計画において、改築及び改修等は建築年を基本として、目標使用期間まで安全に使用できるように改修周期に合わせて定期的に実施していきます。事業を実施する学校の優先順位は建築年の古いものを優先としたうえで、現地目視調査の結果である健全度の低いものを総合的に判断して決めます。築年数が異なる棟でも、躯体の健全性や各棟の配置等を勘案して別棟と合わせて改築及び改修等を実施する事が効率的であると判断した場合は、実施時期を合わせます。

また、現地目視調査において「D」判定となっている箇所がある場合は、施設の状態を考慮して概ね5年以内を目途に応急修繕を実施していきます。

そのうえで、財政への負担が一時的に集中しないよう、施設の健全度を考慮して優先順位付けを行い、各事業の実施時期等を調整し、年次計画を策定し、LCCを試算します。

■優先順位の考え方



2. 長寿命化のコスト見通しと効果

学校施設等の長寿命化を行った場合の効果を検証することを目的に、LCCを試算することでコストの見通しを明らかにします。長寿命化の実施計画の策定にあたり、学校施設等の目標使用期間（構造躯体の耐用年数）を80年とし、4つの主要な事業を組み合わせた事業周期を設定します。改築時期は建築年の古い建物の時期に合わせて効率的に建替えを行うこととします。

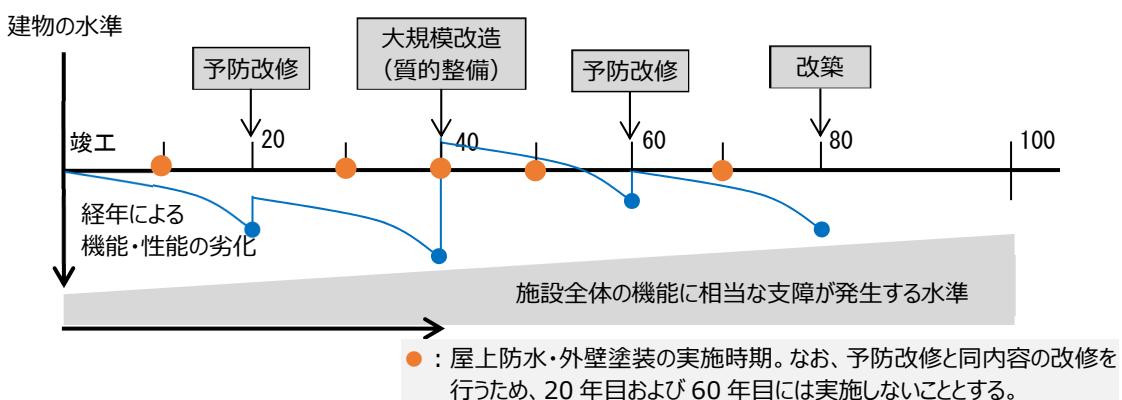
（1）改修周期

長寿命化の実施計画では、前章を踏まえた「改築」「長寿命化」「大規模改修」および「予防改修」の4つの主要な事業を組み合わせて実施していきます。

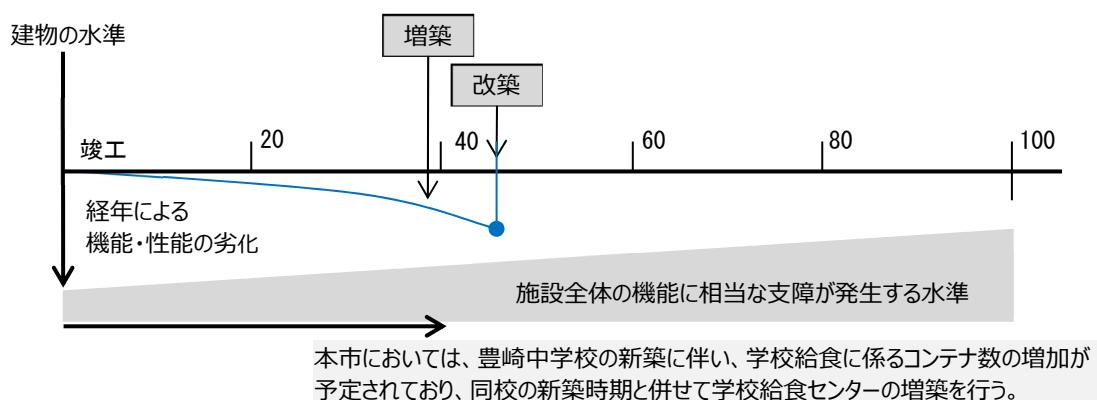
事業名	実施周期
予防改修	20年
大規模改修（質的整備）	40年および60年
長寿命化	40年
改築	45年または80年

また、上記事業と並行し、学校施設等の計画的な維持管理を行うため、10年毎に屋上防水・外壁塗装の実施を検討します。

ア. 【学校施設等】目標使用期間：80 年程度



イ. 【学校給食センター】目標使用期間：45 年程度



（2）LCC の試算条件

他市町村の改築に関する実績値を参考に、その平均値により園舎・校舎や屋内運動場、学校給食センターなどの改築費を設定し、今後 40 年間の LCC を試算しました。各事業に関する事業単価の割合は文部科学省が示す数値を採用するなどし、改築単価をもとに、それぞれ長寿命化 60%、予防改修 25%、大規模改築（質的整備）20% としています。応急修繕については、D 判定箇所 1 か所につき 100 万円を計上しました。また、事業期間も事業ごとに設定しました。なお、試算を行ったうえで、事業時期が一時的に重ならないように平準化を図りながら、事業スケジュールを検討しました。

事業名	周期	単価			事業期間
		園舎・校舎	屋内運動場・武道場	学校給食センター	
新・増改築	45 または 80 年	300 千円/m ²	250 千円/m ²	687 千円/m ²	3 か年
長寿命化	40 年	[改築単価]×60%			2 か年
予防改修	20 年	[改築単価]×25%			1 か年
大規模改築（質的整備）	40 および 60 年	[改築単価]×20%			2 か年
応急修繕	計画後概ね 5 年以内に実施	[D 判定数]×[1,000 千円] ※5 年以内に長寿命化改良、大規模改築、改築がある場合はそれで代用する。			1 か年

※改築単価は、学校給食センターにおいては他市町村の実績値を、その他は本市の実績値を基に設定。

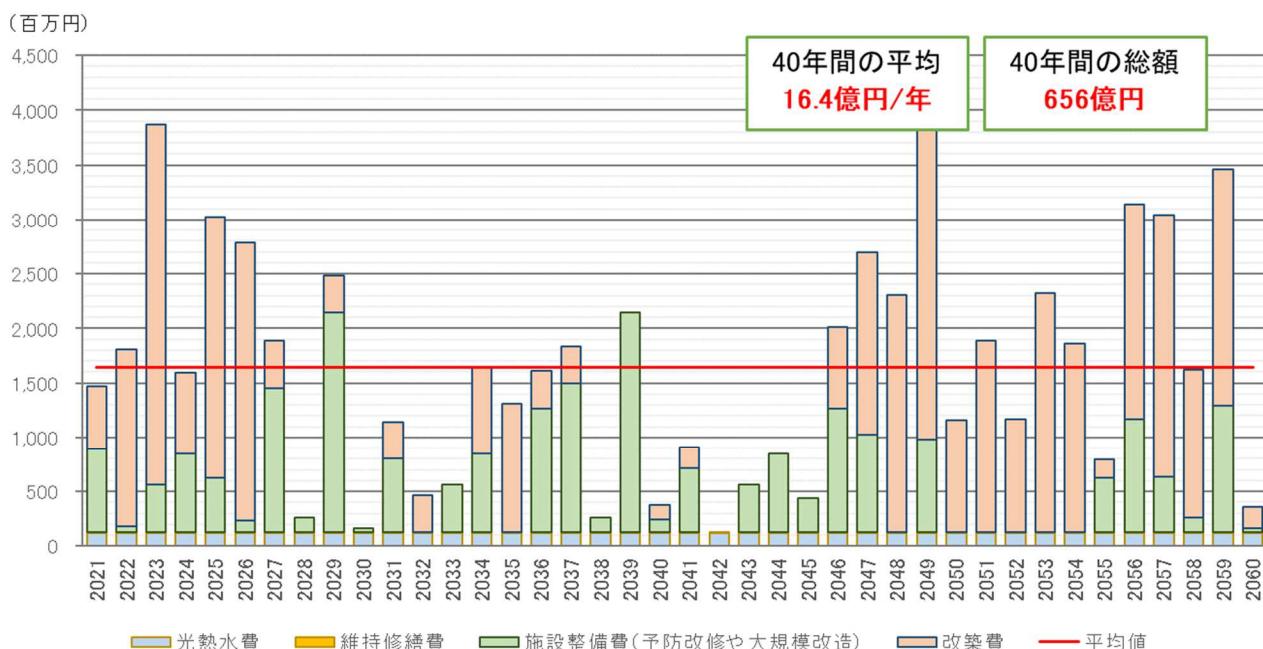
※試算方法は文部科学省の試算プログラムを基に設定し、事業単価の割合は文部科学省の数値を採用

(3) 長寿命化のコストの見通し

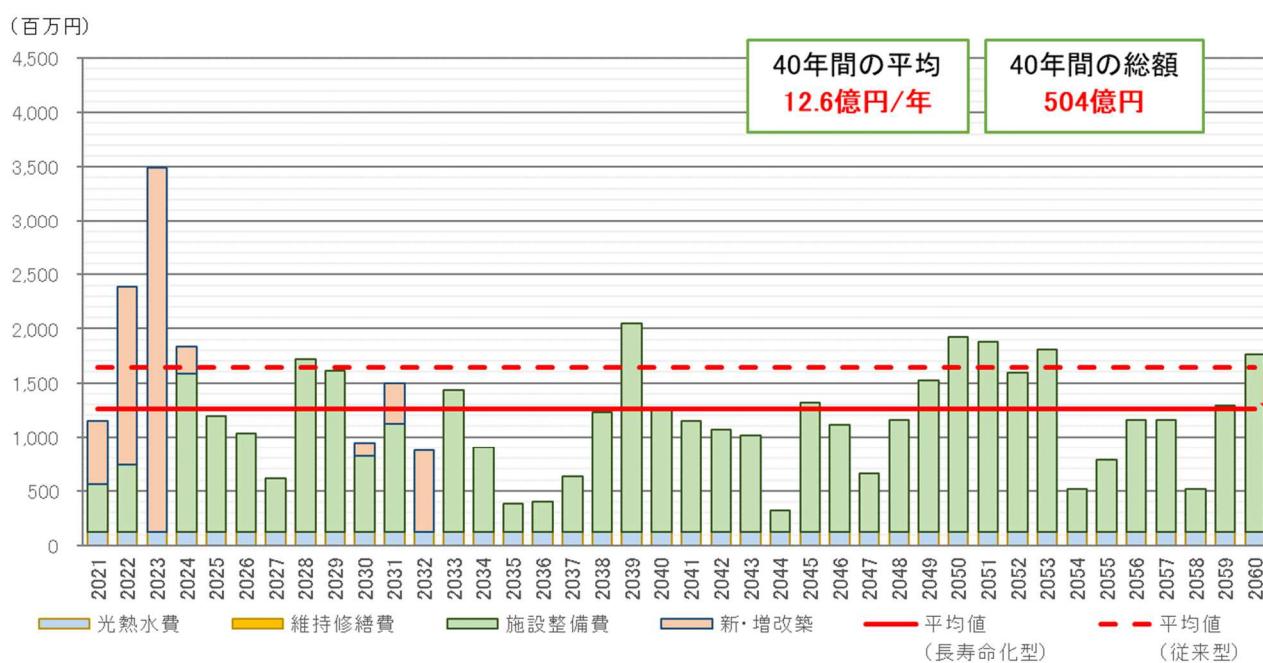
40年毎に建替えた従来方式の場合と適切に改修等を実施し45年間または80年間使用する長寿命化型方式の場合でのコストを比較検証します。

従来方式で試算した場合、40年間の総額は656億円、平均16.4億円/年となります。長寿命化型方式で試算した場合、40年間の総額は504億円、平均12.6億円/年となり、40年間で152億円、年間3.8億円のコスト縮減効果が見込めます。また長寿命化型方式は施設整備水準の程度、技術革新等による省エネルギー化・省資源化の状況によってさらなるコスト縮減も期待されます。

■従来方式（40年後に建替え）



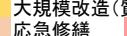
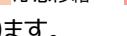
■長寿命化型方式（45年または80年後に建替え）

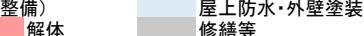


(4) 今後 10 年間の事業計画

今後年間の主要事業は以下のとおりです。事業の実施時期は施設の築年数と健全度を考慮して計画しました。

施設名	用途	棟	区分	目標使用年数	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
					2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
上田こども園	園舎	13	長寿命	ア 80年										
	園舎	14	長寿命	ア 80年										
上田小学校	屋内運動場	31	長寿命	ア 80年										
	校舎	32	長寿命	ア 80年										
	校舎	33	長寿命	ア 80年										
	校舎	34	長寿命	ア 80年										
長嶺小学校	運動場	-	長寿命	ア 80年										
	校舎	24	長寿命	ア 80年										
	校舎	25	長寿命	ア 80年										
	校舎	26	長寿命	ア 80年										
座安小学校	屋内運動場	27	長寿命	ア 80年										
	運動場	-	長寿命	ア 80年										
	プール管理棟	18	長寿命	ア 80年										
	屋内運動場	19	長寿命	ア 80年										
豊見城小学校	校舎	22	長寿命	ア 80年										
	運動場	-	長寿命	ア 80年										
	プール管理棟	12	長寿命	ア 80年										
	校舎	16	長寿命	ア 80年										
伊良波小学校	校舎	17	長寿命	ア 80年										
	屋内運動場	18	長寿命	ア 80年										
	校舎	19	長寿命	ア 80年										
	運動場	-	長寿命	ア 80年										
とよみ小学校	校舎	1	長寿命	ア 80年										
	屋内運動場	2	長寿命	ア 80年										
	プール管理棟	5	長寿命	ア 80年										
	校舎	6	長寿命	ア 80年										
豊崎小学校	運動場	-	長寿命	ア 80年										
	校舎	1	長寿命	ア 80年										
	校舎	2	長寿命	ア 80年										
	屋内運動場	3	長寿命	ア 80年										
ゆたか小学校	プール管理棟	4	長寿命	ア 80年										
	校舎	7	長寿命	ア 80年										
	校舎	新	長寿命	ア 80年										
	運動場	-	長寿命	ア 80年										
豊見城中学校	校舎	13	解体	解体										
	校舎	14	解体	解体										
	校舎	15	長寿命	ア 80年										
	屋内運動場	16	長寿命	ア 80年										
長嶺中学校	校舎	31	解体	解体										
	校舎	新	改築	改築										
	校舎	19	長寿命	ア 80年										
	屋内運動場	20	長寿命	ア 80年										
伊良波中学校	武道場	22	長寿命	ア 80年										
	校舎	新	長寿命	新築										
	運動場	-	長寿命	ア 80年										
	校舎	1	長寿命	ア 80年										
伊良波中学校	屋内運動場	2	長寿命	ア 80年										
	武道場	4	長寿命	ア 80年										
	校舎	5	長寿命	ア 80年										
	校舎	7	長寿命	ア 80年										
学校給食センター	解体	8	解体	解体										
	運動場	-	長寿命	ア 80年										
学校給食センター	給食センター	5	長寿命	イ 45年										
豊崎中学校	校舎	新	長寿命	新築										
	屋内運動場	新	長寿命	新築										

 新・増改築
 大規模改修(質的整備)
 応急修繕
 解体

 予防改修
 屋上防水・外壁塗装
 修繕等
 長寿命化

※各事業スケジュール等は、状況により変更する場合があります。

第6章 長寿命化計画の継続的運用

1. 情報基盤の整備と活用

学校施設等の長寿命化や維持管理・更新を効率的かつ効果的に実施していくには、継続した施設の劣化状況の把握や改修等事業の進捗確認が必要になります。施設カルテを基に、個々の施設整備を進めながら改修等を実施した項目の履歴をデータとして蓄積することで、施設の状態を管理していきます。実施した改修等を一元管理することで、事業の進捗確認ができるとともに、今後の計画見直しにおいての基礎データとして活用を図ります。

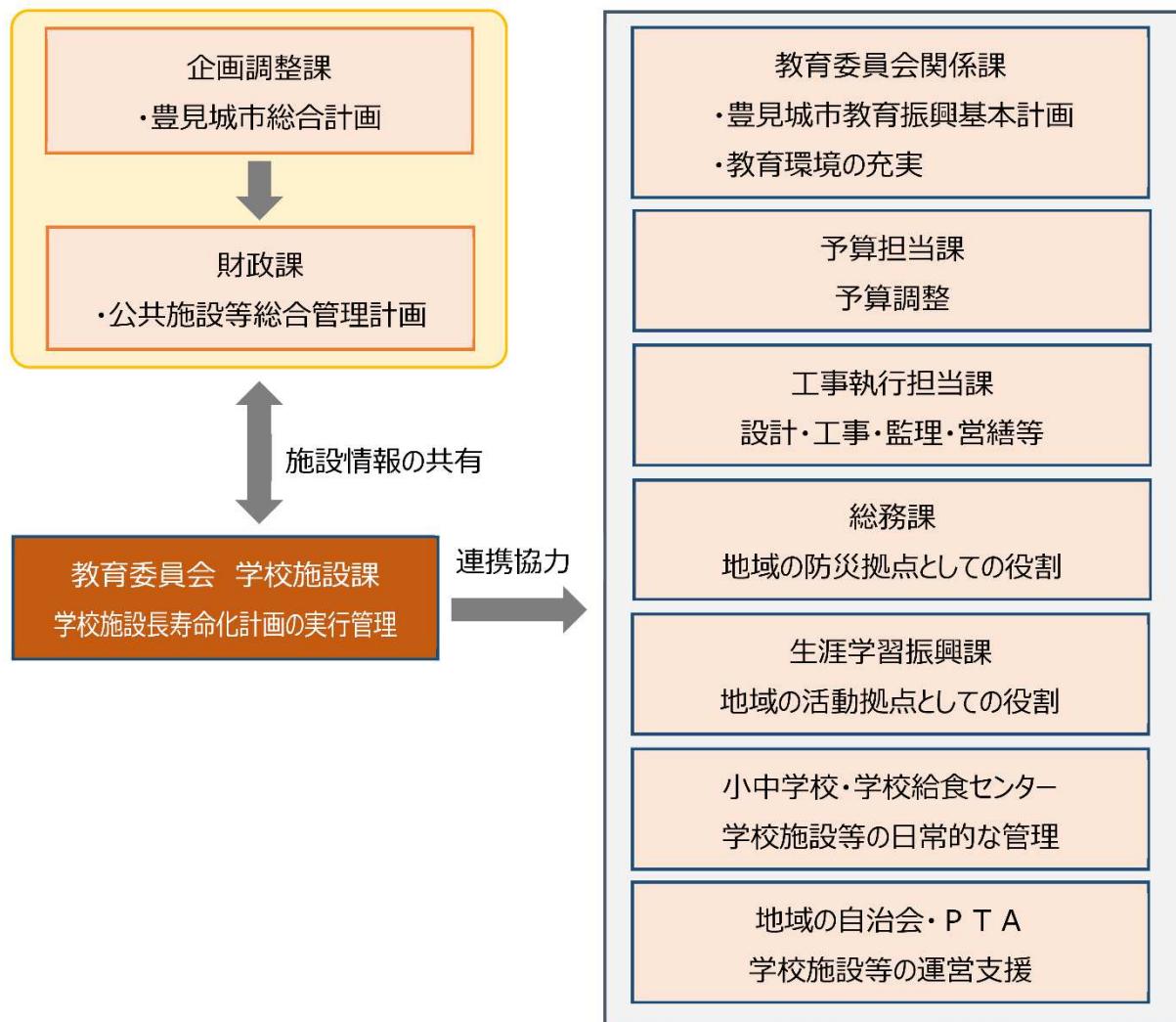
蓄積するデータ

図面、点検履歴、被災履歴、修繕履歴、工事履歴、写真

2. 推進体制の整備

本計画策定後も、学校施設等の老朽化は進行するとともに、教育環境の変化に伴う施設へのニーズは多様化していきます。今後は関係課や学校と連携・協力しながら、劣化状況を的確に把握することや、学習活動の適応状況等の実態を把握し評価することを定期的かつ継続的に行い、把握した情報や評価結果に基づき、より効果的な整備メニューの検討や保全計画の見直しを検討します。また、本計画に沿って確実に改修等を実施するため、関係部局の連携を強化し、協力体制の充実を図ります。

【図：推進体制】



3. フォローアップ等

本計画期間の範囲内であっても、定期的に計画の進捗状況等について以下のフォローアップを実施します。また、老朽化やその他最新の状況を踏まえて概ね5年ごとに計画を見直します。

なお、計画見直しにおいては、目指すべき姿の実現や本計画の効率的な運用に資する改善策を提案するとともに、次回以降も継続して長寿命化の実現に努めます。

① 進捗確認（1年毎）

- ・事業進捗状況を確認し、予算要求に向けて実施計画の調整を行います。
- ・修繕履歴、工事履歴等の履歴を更新します。

② 計画見直し（概ね5年毎を目途）

整備や保全による効果の検証を継続的に行うとともに、より効果的な整備や保全の手法など改善すべき点について課題を整理し、課題解決の方策を検討したうえで計画を見直します。

- ・実態把握（劣化状況調査・健全性調査）により老朽化の状況を把握し、定期点検等の各種調査の結果も踏まえ、施設カルテを更新します。
- ・各種単価や交付金割合の見直し、事業スケジュールの調整等を行い、LCC試算グラフを更新します。
- ・各種法令及び上位関連計画における見直し事項を確認し、本計画の内容を見直します。
- ・その他長寿命化計画を実施する上で必要な見直しを行います。

③ 今後の課題及び検討事項等

- ・今後の学級数の動向を踏まえて適正規模での学校施設等の管理運営を実施します。
- ・財政負担の軽減を目的にPPP/PFI等の民間活力の導入を検討しながら、適正な学校施設等の管理運営を行います。
- ・修繕事業は国庫補助金を活用しているため、補助メニューの最新の動向を踏まえて事業の見直しを行います。

第7章 LCC 試算表の整理

LCC の試算に伴い、その算出に用いた資料を整理します。

■ライフサイクルコスト(LCC)試算表 (平準化)

(千円)

施設名	建物名	建物箇所	棟	健全度	優先度	区分	5.1	17	22	8.0	7.3	D	延床面積	建築年度	築年数	目標使用年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
							屋上	外壁	内部	電気	機械	5年以内					R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22
上田こども園	園舎	南棟・北側	13	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	1,798	2017	3	ア	80年								134,850										134,850	
	園舎	南棟・南側	14	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	623	2017	3	ア	80年								46,725										46,725	
上田小学校	屋内運動場		31	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	1,686	2016	4	ア	80年								105,375										105,375	
	校舎	北棟	32	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	3,540	2017	3	ア	80年								265,500										265,500	
	校舎	中棟	33	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	3,672	2017	3	ア	80年								275,400										275,400	
	校舎	南棟	34	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	1,876	2017	3	ア	80年								140,700										140,700	
	運動場		-	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	7,467	2017	3	ア	80年																			29,868
長嶺小学校	校舎	北棟	24	52	49	長寿命	B	C	C	B	B		3,493	2007	13	ア	80年	2,192				18,601				261,975										261,975
	校舎	西棟	25	49	41	長寿命	C	C	C	B	B		1,545	2007	13	ア	80年								115,875										115,875	
	校舎	東棟	26	55	53	長寿命	B	C	C	A	B		1,385	2007	13	ア	80年								103,875										103,875	
	屋内運動場		27	55	53	長寿命	B	C	C	A	B		1,730	2008	12	ア	80年								108,125										108,125	
	運動場		-	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	9,200	2008	12	ア	80年								36,800										36,800	
座安小学校	プール管理棟		18	49	41	長寿命	C	C	C	B	B		235	1992	28	ア	80年				17,625										17,625					
	屋内運動場		19	49	41	長寿命	C	C	C	B	B		1,315	2001	19	ア	80年			82,188										82,188						
	校舎		22	49	43	長寿命	A	C	C	B			5,806	2013	7	ア	80年			435,450										435,450						
	運動場		-	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	4,685	2013	7	ア	80年								18,740										18,740	
	プール管理棟		12	47	34	長寿命	B	C	C	C	B		266	1989	31	ア	80年								19,950										19,950	
豊見城小学校	校舎	北棟(普通教室棟)	16	52	50	長寿命	C	C	C	A	B		3,766	2009	11	ア	80年								282,450										282,450	
	校舎	南棟(特別・管理棟)	17	43	29	長寿命	B	C	C	C	C		2,328	2009	11	ア	80年								174,600										174,600	
	屋内運動場		18	52	49	長寿命	B	C	C	B	B		1,222	2009	11	ア	80年								76,375										76,375	
	校舎	東側(渡廊下)	19	75	68	長寿命	B	A	C	A	A		97	2009	11	ア	80年								7,275										7,275	
	運動場		-	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	9,142	2009	11	ア	80年								36,568										36,568	
伊良波小学校	校舎	北棟(特別教室棟)	1	39	26	長寿命	B	C	C	D	C	1,000	3,710	1986	34	ア	80年	1,000			89,040	133,560	278,250										278,250			
	屋内運動場		2	43	29	長寿命	B	C	C	C	B		1,331	1986	34	ア	80年			26,620	39,930	83,188										83,188				
	プール管理棟	更衣室棟	4	59	59	長寿命	C	B	C	B	B		84	1987	33	ア	80年								6,300										6,300	
	プール管理棟	機械室棟	5	52	49	長寿命	B	C	C	B	B		43	1987	33	ア	80年								3,225										3,225	
	校舎	南棟(普通教室棟)	7	49	41	長寿命	C	C	C	B	B		1,546	1986	34	ア	80年			37,104	55,656	115,950										115,950				
とよみ小学校	校舎	西棟(増築校舎棟)	新	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	954	2019	1	ア	80年								71,550										71,550	
	運動場		-	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	8,584	1986	34	ア	80年	12,309			32,637											32,637				
	校舎	東棟	1	49	41	長寿命	C	C	C	B	B		3,807	1995	25	ア	80年				285,525										285,525					
	屋内運動場		2	57	57	長寿命	B</td																													

■ライフサイクルコスト(LCC)試算表 (平準化)

(千円)

施設名	建物名	建物箇所	棟	健全度	優先度	区分	5.1	17	22	8.0	7.3	D	延床面積	建築年度	築年数	目標使用年数	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
							屋上	外壁	内部	電気	機械	5年以内					R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37	R38	R39	R40	R41	R42
上田こども園	園舎	南棟・北側	13	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	1,798	2017	3	ア	80年																	43,152	64,728	
	園舎	南棟・南側	14	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	623	2017	3	ア	80年																	14,952	22,428	
上田小学校	屋内運動場		31	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	1,686	2016	4	ア	80年																	105,375		
	校舎	北棟	32	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	3,540	2017	3	ア	80年																	265,500		
	校舎	中棟	33	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	3,672	2017	3	ア	80年																	275,400		
	校舎	南棟	34	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	1,876	2017	3	ア	80年																	140,700		
	運動場		-	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	7,467	2017	3	ア	80年																		45,024	67,536
長嶺小学校	校舎	北棟	24	52	49	長寿命	B	C	C	B	B		3,493	2007	13	ア	80年																	83,832	125,748	
	校舎	西棟	25	49	41	長寿命	C	C	C	B	B		1,545	2007	13	ア	80年																37,080	55,620		
	校舎	東棟	26	55	53	長寿命	B	C	C	A	B		1,385	2007	13	ア	80年															33,240	49,860			
	屋内運動場		27	55	53	長寿命	B	C	C	A	B		1,730	2008	12	ア	80年															34,600	51,900			
	運動場		-	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	9,200	2008	12	ア	80年															36,800				
座安小学校	校舎		18	49	41	長寿命	C	C	C	B	B		235	1992	28	ア	80年															17,625				
	屋内運動場		19	49	41	長寿命	C	C	C	B	B		1,315	2001	19	ア	80年		26,300	39,450														82,188		
	校舎		22	49	43	長寿命	A	C	C	C	B		5,806	2013	7	ア	80年															435,450				
	運動場		-	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	4,685	2013	7	ア	80年																139,344	209,016		
	プール管理棟		12	47	34	長寿命	B	C	C	C	B		266	1989	31	ア	80年																19,740			
豊見城小学校	校舎	北棟(普通教室棟)	16	52	50	長寿命	C	C	C	A	B		3,766	2009	11	ア	80年															90,384	135,576			
	校舎	南棟(特別・管理棟)	17	43	29	長寿命	B	C	C	C	C		2,328	2009	11	ア	80年														55,872	83,808				
	屋内運動場		18	52	49	長寿命	B	C	C	B	B		1,222	2009	11	ア	80年														24,440	36,660				
	校舎	東側(渡廊下)	19	75	68	長寿命	B	A	C	A	A		97	2009	11	ア	80年														2,328	3,492				
	運動場		-	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	9,142	2009	11	ア	80年														36,568					
伊良波小学校	校舎	北棟(特別教室)	1	39	26	長寿命	B	C	C	D	C		1,000	3,710	1986	34	ア	80年															89,040	133,560		
	屋内運動場		2	43	29	長寿命	B	C	C	C	C		1,331	1986	34	ア	80年														26,620	39,930				
	プール管理棟	更衣室棟	4	59	59	長寿命	C	B	C	B	B		84	1987	33	ア	80年														6,300					
	校舎	機械室棟	5	52	49	長寿命	B	C	C	B	B		43	1987	33	ア	80年														3,225					
	校舎	南棟(普通教室)	7	49	41	長寿命	C	C	C	B	B		1,546	1986	34	ア	80年														37,104	55,656				
とよみ小学校	校舎	西棟(増築校舎)	新	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	954	2019	1	ア	80年															71,550				
	運動場		-	-	-	長寿命	-	-	-	-	-	-	8,584	1986	34	ア	80年																22,896	34,344		
	校舎	東棟	1	49	41	長寿命	C	C	C	B	B		3,807	1995	25	ア	80年															285,525				
	屋内運動場		2	57	5																															

豊見城市立学校施設長寿命化計画

令和3年3月

豊見城市 教育委員会 教育部 学校施設課

〒901-0292 沖縄県豊見城市宜保一丁目1番地1

電話：098-850-0354